

たなびく赤旗のもとで

組合結成30周年記念誌



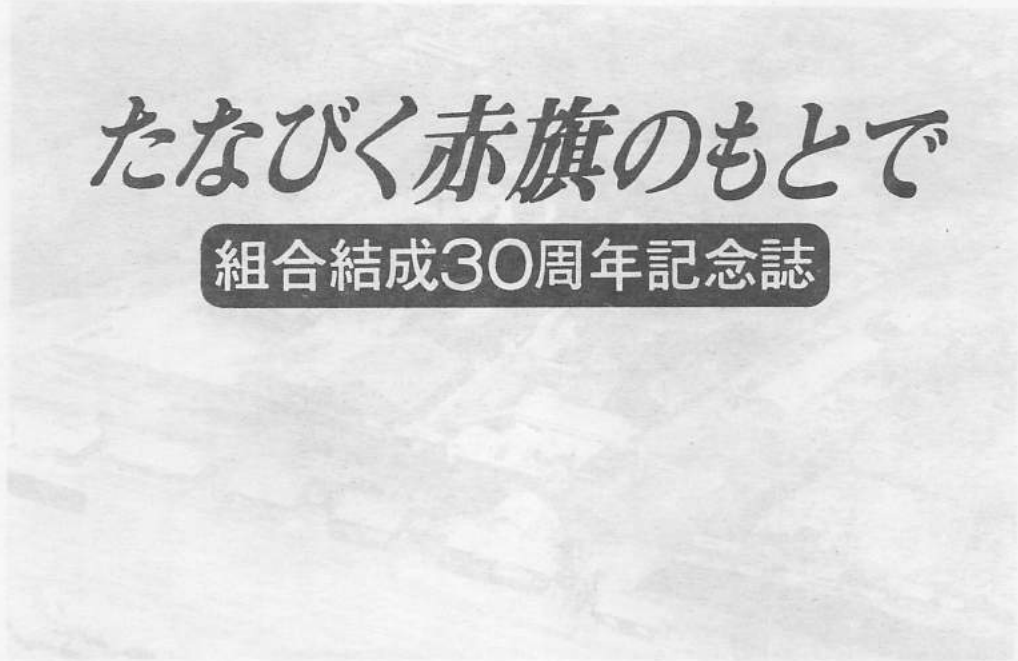
総評全国金属労働組合港合同

大阪亜鉛支部

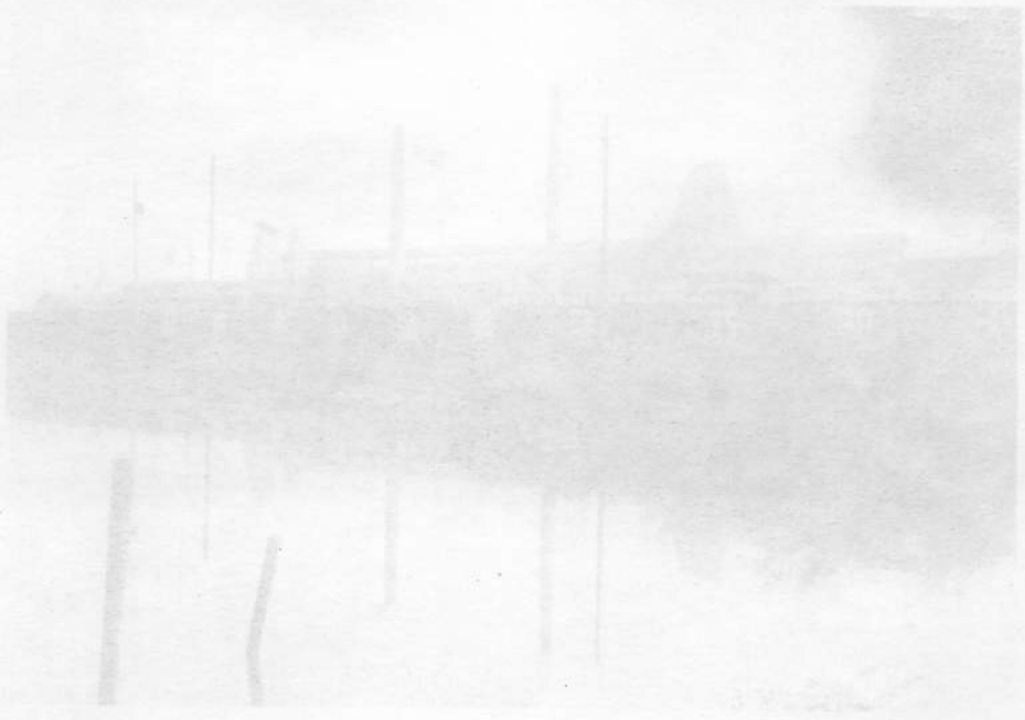
新 耕 の 景 全 林 会

たなびく赤旗のもとで

組合結成30周年記念誌



（上）丁ノ井地区の風景（昭和30年）



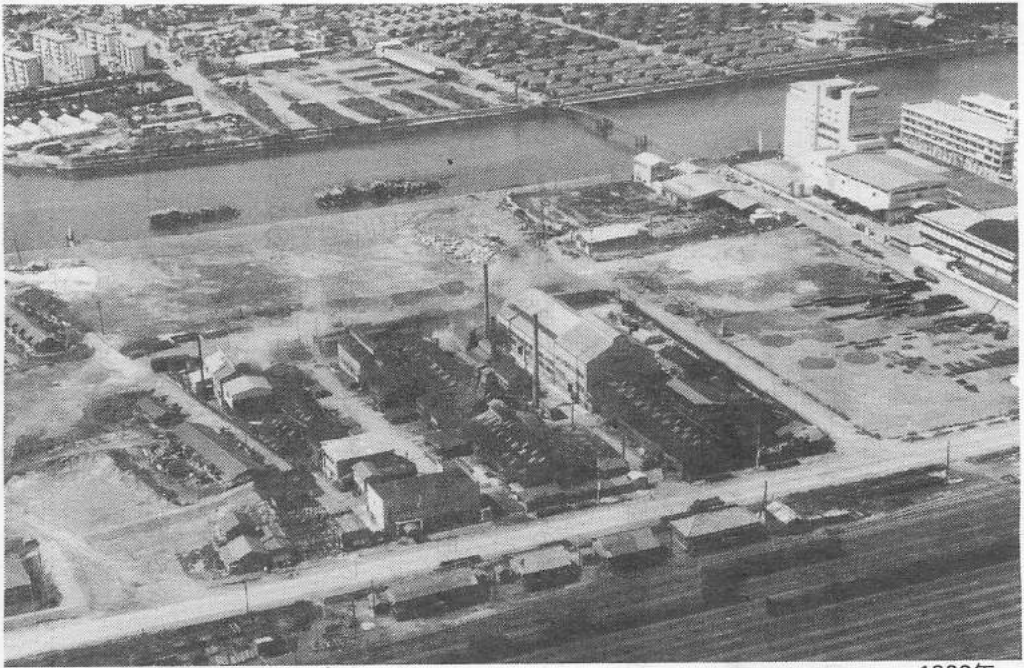
（下）丁ノ井地区の学校（昭和30年）

会社全景の推移

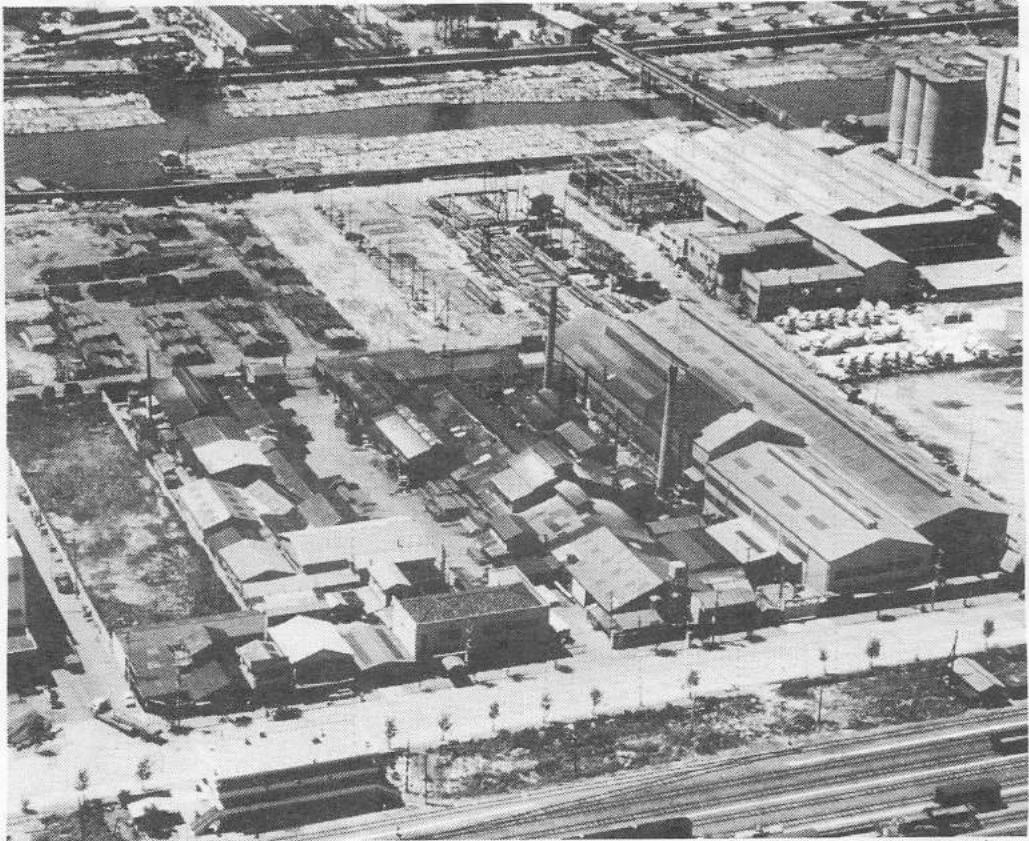


会社創業当時（1952年）三十間堀からの入江が会社の周辺を取巻いていた。





1962年



1970年

発刊の辞.....4

組合結成三〇周年記念行事実行委員長／高野文夫.....6

総評全金港合同大阪亜鉛支部委員長／橋井美信

① 仲間からのメッセージ

▼自民党と独占の攻撃をはね返し、平和と民主主義、生活と暮らしを守る闘いを.....9

総評全金大阪地本副委員長／巢張秀夫

▼総評全金労働運動の連帯、前進のために奮闘しよう.....10

総評全金南大阪地協議長／井本英雄

▼地域共闘強化のために一層の奮闘を.....11

総評南大阪地評議長／山本敬一

▼闘争の実証としての三〇周年を心から祝します.....12

総評全金港合同事務局長／大和田幸治

▼“闘いこそ自分を守る”を基本に、企業の壁、組織の壁をのりこえた闘いを.....14

総評港地協議長／有本幹明

▼労働条件の維持と改善、そして労働者の社会的地位の確立を.....15

亜鉛鍍金労組協議会／

田中亜鉛鍍金労組組合長／別枝照彦

▼総評労働運動を継承し、階級的労働運動の構築を……………16

元総評全金副委員長／……………中里 忠 仁

▼大阪亜鉛支部結成三〇周年に思う……………18

大阪亜鉛鍍金株式会社 代表取締役／田 村 秀次郎

▼相協力し、大阪亜鉛の真の再建を……………19

大阪亜鉛鍍金株式会社更生法律管財人／児 玉 憲 夫

② 三〇年のあゆみ……………21

③ 全員登場……………85



④ 組合結成三〇周年記念 組合功労者表彰……………107

⑤ 組合結成三〇周年記念 文体行事優勝者表彰……………109

⑥ 資 料……………117

▼大阪亜鉛支部役員一覧……………117

編集後記……………121

発刊の辞

組合結成三〇周年記念行事実行委員長

高野文夫



長時間労働、低賃金、無権利、労働者は使い捨てという「奴隷工場」の職場の中で、七名の労働者が極秘裡に立ち上がり、一九五八年九月二九日に全国金属大阪垂鉛支部を結成した。そして、わずか一週間後には組合員六〇名に仲間が増えたが、資本は労働者の分断を通じて我が組織を壊滅すべく介入してきた。

今思えば、組合の三〇年の歴史は心の休まるいとまもなく闘争に明け暮れた日々であったと思う。

初代委員長に対して刑事事件をデッチアゲ、解雇を強行した事件。一九六三年春闘に六二日間に亘る無期限全面ストライキで資本との対決を行ったが、資本は国家権力と一体となって青年労働者を不当にも逮捕させ闘争の最大の源を打ち砕くことによって組織の敗北に帰すことをはかった。

だが我々労働者は雑草のごとく、踏まれても踏まれても耐え忍び反撃を行ってきた。
しかし敵は資本や国家権力だけでなく、一九七一年、日経連が大阪において春闘総括を
行い関西の労働運動、とりわけ全国金属南大阪を名指しで攻撃し、我々に対する集中攻撃
の方針を打ち出した。以降その方針に基づき、企業を倒産させ、組織を破壊さす新たな戦
術で攻撃を集中して加えてきた。

我が支部にも、一九七五年四月二六日、資本は労働者には全くの抜き打ちで会社更生法
による企業倒産、組織破壊の攻撃を加えてきた。だが、我々大阪垂鉛支部の組合員は相次
ぐ闘いで鍛えぬかれてきた闘魂を胸に「官製合理化攻撃」であると位置付け、一人の首き
りも許さず、労働者による労働者のための職場再建を闘い抜いてきた。

今、組合結成三〇周年記念行事にあたり、長い闘いの歴史の中で各々が貴重な闘いの記
録を胸に残したことを労働者の誇りとして、まだまだ続くであろう闘いを地域の仲間と連
帯し完全勝利するまで闘うことを誓い、発刊に当たって挨拶とさせていただきます。

此紙共闘を闘う

闘争闘争を闘う

闘争闘争を闘う

闘

共

美

闘

地域共闘を軸に 団結権を堅持した闘いを

総評全金港合同大阪垂鉛支部委員長 橋 井 美 信



一九五八年九月初旬、七名の有志が全金港合同に加盟し、同月二十九日、従業員二〇〇名中三二名の仲間を結集し、正式に総評全金大阪垂鉛支部を結成してから早三〇年の歳月が経過しました。この三〇年間の闘いの中で、組織結成のため日夜分かたず苦闘をされた七名の大先輩、結成以後の様々な闘いに努力を傾注された役員、活動家、組合員とその家族の皆さんに心から感謝申し上げます。同時に支部結成から今日まで、適切な指導と、我々の長年にわたる闘いに対し、熱い連帯と共闘、そして絶大な協力を賜った上部機関役員、地域、全国の闘う同志の皆さんと関係諸団体の方々に熱く御礼申し上げます。

支部結成当時の状況は、日本労働運動と政治闘争における最大の闘いであったといわれる三井三池闘争、六〇年安保闘争の直前であり、日本独占資本が帝国主義化に向けて、経済の高度成長に突き進むようとしている時期であり、労働者の闘いが高揚する条件を満たしている時期でありま

した。

しかし現在は、高度成長期に労働者、労働組合の権利を剝奪された民間大手労組を中心とする労使協調路線に基づく労働運動の右翼再編が進み、自民党政府と資本の側は、これをハズミにして労働者と国民へのあらゆる収奪をほしのままに強行している中で、労使協調路線と労働運動の右翼再編に抗して闘う労働者の任務が高まっている時期である。

我々は、支部結成三〇年を一つの節目にして、三〇年間の闘いの教訓、とりわけ、六三春闘における敗北、倒産攻撃に対する勝利的闘いそして、何よりも港合同を中心として強化発展した地域共闘を軸に、団結権を堅持し、あらゆる闘いに一層奮闘努力することを誓いあおう。

我共國の事、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、

唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、
唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、
唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、

唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、
唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、
唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、
唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、臣等皆の願、唯のちの國に、

I

仲間からのメッセージ



自民党と独占の攻撃をはね返し、

平和と民主主義、生活と暮らしを守る闘いを

総評全金大阪地本副委員長 巢 張 秀 夫



倒産攻撃に屈せず労働者主体の職場再建闘争の中で、組合結成三〇周年記念集会を開催された大阪亜鉛支部の皆様は心から敬意を表します。

敗戦による焦土と飢餓から立ち上がってから四〇年以上が経過し、明日食べる食料もないといった状況の中から平和と民主主義、生活と権利向上について労働組合の果たしてきた役割は非常に大きなものがありました。しかし、私達の努力によってGNPが大きくなりアメリカに次ぐ経済大国になったにもかかわらず、いま自民党内閣と独占資本は「戦後政治の総決算」と称して反動政治を強めています。これは憲法の見直しであり、労働の見直しであり、戦後にスタートした平和憲法、労働法、教育基本法の改悪を意図しています。彼等は福祉の切り捨て、国民生活関連予算を圧迫しながら他方で軍事費を増大して、アメリカの戦略体制の中で積極的役割を担い、核戦争に巻き込まれる危険な軍事大国化を進めています。

こうした自民党と独占の攻撃をはね返し、平和と民主主義を守り、生命と暮らしを守るために労働組合の任務はいよいよ重大ななっています。

組合結成以来、我が全金大阪地本と南大阪地協の中心組合として先進的に活動的に活動されている大阪亜鉛支部のますますの御発展と組合員の皆様の御健康を祈念してお祝いのお挨拶とします。

総評全金労働運動の連帯、前進のために奮闘しよう

総評全金南大阪地協議長 井 本 英 雄



大阪垂鉛支部の組合結成三〇周年！ 全金南地協の仲間と共に心より連帯とお祝いを申し上げます、同志の皆さんに敬意を表します。

支部結成三〇年ひたすら地域労働運動の先頭に立ち、労働者の生活と権利、平和を守るために全力をあげられた、歴代役員、組合員の皆様のご奮闘に対し厚く御礼と感謝を申し上げます。

私の所属する日本橋梁支部は七年前に工場移転にともない西北地協から南地協に移籍した新参者であり、多くを語りうる知識がないわけではありますが、大阪垂鉛支部が全金大阪地本の舞台において、南地協の若において、更には港合同支部の家庭において卓越した指導と実践を果たされ全金労働運動の前進と強化に向けて寄与されたことは全体の知るところであります。

三〇年の歩みには、支部結成時の組織固めの時代、東京オリンピックの前段の高成長下に於ける運動の高揚時代、更に一九七五年の会社更生法申請以降、一二年に亘る闘い等々、楽しかったこと、苦しかったこと、怒りに燃えたこと、数々の経験が血肉となり現在の大阪垂鉛支部が形成され、今後更に支部の強化、発展を遂げられ、地域労働運動の中心的役割を担われるものと確信するところでです。

時代はいかに流れが変わろうとも、資本主義体制が続くかぎり、私達は労働力の対価によって生きる、この立場は変わることはないし、新たな試練に向かって闘いを持続しなければならないと思います。

自分達の闘いの歴史を振り返る

現下の情勢は、資本との対立と矛盾の激化がさげがたい状況がありますが、歴史ある大阪亜鉛支部が三〇周年から明日へと、総評全金労働運動の指導と連帯、前進のために奮闘されんことを祈念申し上げ組合結成三〇周年に寄せる祝辞と致します。

地域共闘強化のために一層の奮闘を

総評南大阪地評議長 山本 敬 一



大阪亜鉛支部の三〇周年にあたり、心から皆様の不撓・不屈の闘いの歴史に対して敬意を表します。

六〇年安保・警職法・炭労闘争など岸内閣を追い詰める日本の労働運動史上、歴史的な大闘争の時代に大阪亜鉛支部の誕生を見ました。物情騒然たる状況の中、日本階級闘争がこの時代を頂点に素晴らしい階級的高揚、発展をとげました。

大阪においても、どの組合をとっても今日の労働運動の停滞に見られるがごとき沈滞は全

く有りませんでした。

政治反動が強まれば強まるほど大衆闘争が高揚するというレーニンの言をまつまでもありません。

大阪亜鉛の歴史は、その闘いの一つ一つが物語るように、皆さんの団結そのものでした。その困難は一通りのものでなかったと思います。一九七五年の企業倒産（会社更生法）「労働者の労働者のための職場再建」はその最たるものです。

それが長期にわたって、しかも成功裡に進められている中で三〇周年の記念すべき歴史を迎えたことは、まさに組合の不屈の団結以外にありません。

地域の労働組合間の共闘強化、発展は今も中小労組の模範として絶賛されています。一層の団結と地域労組の共闘発展のために奮闘をねがっています。

闘争の実証としての三〇周年を心から祝します

総評全金港合同事務局長 大和田 幸 治



闘いの歴史と三〇周年を心から祝福いたします。

思えば今から二十数年前、田中機械が同盟であった時代、偶然にも業務で大阪垂鉛の門前を通りかかり激烈なストライキを目撃しました。当時密かに抱いた共闘の夢は希しくもその後同盟幹部の裏切りに遭遇して、脱退—全金加盟にいたり、その結果として今日まで戦列を共にすることができたのです。

今、大阪垂鉛支部は一九七五年以来の会社更生法攻撃の最中にありますが、この間我々の破産法下の闘いに橋井委員長を先頭に極めて暖かい御指導、御支援を戴き厚く感謝する次第です。

さて、大阪垂鉛支部は今日に至るまで、名実共に南大阪の中心拠点として大きな役割を果たして来られました。南大阪の闘いの中で細川闘争、九条シヤ、矢賀製作闘争など印象に深い闘いは数々ありますが、大阪垂鉛支部に加えられた会社更生法を利用した組織攻撃は、当時の労資の関西、あるいは港での対立を如実に現したものと特に印象的です。当時、新日鉄を頂点とする鉄鋼独占や関経協は南大阪、港の労働運動の破壊を資本の階級的使命として血道をあげていたのです。

資本は労働組合の力を制するに更生法、破産法の力を借りて合法の如く見せかけ、実態は企業処理でなく組合敵視の政策

としての攻撃を策していました。

港の労働運動は高邁な理論よりも数多くの闘争に飛び込み自らを鍛える事によって成立してきました。自ら体得した戦術を駆使しながら、地域の橋頭堡とすべく確立を目指してきました。

今日の労働運動は全民労連に見られる如く数をたのんで実にこだわらない傾向、労働者の権利放棄の方向へと進んでいきます。

最近、労基法、派遣法、均等法と反動政策によって労働者権利は音をたてて崩れています。

権利にこだわり、団結にこだわり、戦闘性にこだわった三〇年の経験を今後の労働運動発展の為に寄与して貰いたいと思います。

「闘いこそ自分を守る」を基本に

企業の壁、組織の壁をのりこえた闘いを

総評港地協議長 有元幹明

総評全金港合同大阪亜鉛支部結成三〇年を心からお祝いし熱烈に連帯の意を表します。

一九七五年以来、一二年間、倒産反対、職場再建闘争を、全組合員が一丸となって闘ってこられましたこと、私達はその闘いを大きく評価しています。

先ごろ開かれた皆さん方の、第三〇回大会は「新たな再建闘争に向かって」「一二年間の闘いを正しく総括し、「勝利に向けて」の方針を確立されました。

情勢は依然として厳しいものがありますが、確立された方針のもとに結集し、勝利に向か

って前進されんことを祈念しています。



私達港区に働く仲間も、共に闘いの場にいますことを誓います。

戦後労働運動の歴史において、離合集散を繰り返しつつも、総評労働運動が、賃金・労働条件、反核・平和運動などの闘いにおいて、即ち、日本の平和と民主主義を守るリーダーとして中心的役割を果たしてきましたが、今、その総評運動が大きな転換点にさしかかっています。

私達、総評港地協はこの間、地域運動における闘う労働戦線の統一を目指し、右翼的運動に反対し、政党の引き回しによる分裂策動に対しても毅然たる態度でもって対処し、企業の壁、組織の壁をのりこえた強い地域組織として発展してきたと自負しています。

したがって、一二月「連合への移行」があるうが、私達の地協運動は動じないと確信しています。

これからも、「闘いこそ自分を守る」ことを基本に結束し、大阪亜鉛の仲間の皆さんの闘いを自らの闘いと認識し、共に闘うことを再度表明し連帯の意とします。

闘いこそ自分を守る、を基本に

とします。

私達、総評港地協は、戦後労働運動の歴史において、日本の平和と民主主義を守るリーダーとして中心的役割を果たしてきました。今、その総評運動が大きな転換点にさしかかっています。

私達、総評港地協はこの間、地域運動における闘う労働戦線の統一を目指し、右翼的運動に反対し、政党の引き回しによる分裂策動に対しても毅然たる態度でもって対処し、企業の壁、組織の壁をのりこえた強い地域組織として発展してきたと自負しています。

したがって、一二月「連合への移行」があるうが、私達の地協運動は動じないと確信しています。これからも、「闘いこそ自分を守る」ことを基本に結束し、大阪亜鉛の仲間の皆さんの闘いを自らの闘いと認識し、共に闘うことを再度表明し連帯の意とします。

労働条件の維持と改善、 そして労働者の社会的地位の確立を

亜鉛鍍金労組協議会

田中亜鉛鍍金労組組合長

別 枝 照 彦



大阪亜鉛支部結成三〇周年おめでとうございます。仕儀をただし新たに敬意と賞賛の詞を捧げます。

現在貴支部が会社更生法の厳しい環境の中で労働者主権の再建に努力されている姿勢に強い感銘を受けています。日本の労働運動を振り返ってみますに、各労組の取り組みにも各種各様の多難で厳しい道程がありました。それは闘争であり、挫折であり、再建であり、また解散であったり。でも貴支部のように会社更生法適用中、すでに経過一〇数年、労組自身が確りと現実を受けとめ、会社の再建に努力している姿勢は、労働者自身が自身を守る強い力を主張する正しさを、労働運動の正義性を純粹に社会に表現している事実により、尊いと思えます。

労働組合の組織が欧米的な職種別と日本の企業別との違いはありますが、日本の労働者が世界に向かって誇示できるのは現在の日本経済の繁栄が、全労働者の犠牲とか、一部の資本家、会社経営者の搾取によるものでなく、常に労働者が時代の背景に即して会社経営陣に前向きで建設的な合意に努力してきた結果であったと思えます。

残念ながらも現在日本の経済には国内外ともに歪みができています。これは政治的、金融的な運営の誤りであり、直接的労働運動の是非と関係はありませんが、日本の労働運動にも深い係わりを持つていくと思われまます。労働運動の緊急な課題として労働者の高齢化、産業構造の転換による雇用調整の広がり、労働組合がどう取り組むのか？地域経済をどうするのか？その摸索は深刻であります。

労働運動の目的が未来永劫にこれからも労働者の労働条件の維持と改善、及び社会的地位の確立的基礎に変わりはありませんが、組合運動の活力を十二分に発揮していかなければならない社会が到来しています。

貴支部の記念集会の合言葉が「質素に、楽しく、有意義に」と聞いていますが、今日多くの日本国民が物質的に贅沢で精神的に貧者であると言われます。貴支部が一日も早く再建がなり、物質的にも精神的にも豊かで、楽しく、有意義な生活で生きる日々を強く念願して貴支部三〇周年記念のお祝いの言葉とさせて頂きます。

総評労働運動を継承し、階級的労働運動の構築を

元総評全金副委員長

労研センター代表幹事

中 里 忠 仁



大阪亜鉛支部の組合員の皆さん

組合結成三〇周年おめでとうございます。

組合を結成した三〇年前、三二名の組合員で出発したとお聞きしました。多数の第二組合を向こうにまわし、激烈な組織の攻防の中で立派に組織を強化拡大し、同時に資本側との闘いでは、幾多の苦難な闘いの中で勝利をかちとってこられた皆さんに、心から敬意を表します。結成された当時の日本の労働運動は、資本側が力を増し、それを打ち破るために春闘共闘方式が構築された頃と考えます。

組合結成に尽力された先輩各位は、働く者の「生活と権利」を守り、労働者解放を目指し、あらゆる妨害を排除して組織を守り、運動を前進してこられました。とりわけ、企業倒産、会社更生法下での闘いは筆舌に尽くせない苦労があったものと考えます。

大阪垂鉛支部の皆さん

三〇年の闘いの歴史はそのまま、苦難な中で闘う中小労働組合や地域闘争の教科書であります。貴労組の闘いを軸に、闘いの絆で結ばれた連帯性は、三〇周年を契機に一層未来に向けて継承されるものと考えます。

本年はまた日本労働運動の危機的一大転換の年でもあります。一部右翼的労働幹部によって画策された労戦統一問題は、全労協から「連合」へと移行し、闘う総評労働運動を解体し、資本と権力側に迎合追従する運動へと変質させようとしています。

この時にあたり、絶えず闘う階級的労働運動を継承発展されてきた貴労組の、三〇周年記念行事を勝ち得た皆さんに心からお祝い申し上げます。

今後ますます闘う階級的労働運動のリーダーとして、一層の発展と皆さんの御健勝を祈り御祝辞とします。



一、連合労働の二階級問題
連合労働の二階級問題とは、労働者の階級を区別せず、一律に労働組合を組織することを主張するものである。これは、労働者の階級を区別せず、一律に労働組合を組織することを主張するものである。これは、労働者の階級を区別せず、一律に労働組合を組織することを主張するものである。

大阪垂鉛支部全労協代表者

田村 泰次郎

大阪垂鉛支部全労協代表者

大阪亜鉛支部結成三〇周年に思う

大阪亜鉛鍍金株式会社代表取締役

田 村 秀 次 郎



一、組合活動の一般的発展

私が、大阪亜鉛支部と接触をもったのは、当社が更生開始決定後の一二年程の間でありましたが、それ以前にも私は他の企業で同種の組合との折衝を担当した事があります。

それについて考えますと組合が活発に前進するのは、大きな弁証法的必然性に基づく現象と思いますが、現実の次元に於いては常に組合が社会環境の変化と所属企業の内容を把握して臨機の活動を展開する事が発展の要素でありましょう。

当支部が他の組合以上に幾多激烈な変化に遭遇しながら、その団結を維持し発展を続けて三〇年に及んだ事は、前記要素に沿い困難に耐えてきた結果と推測いたします。

二、企業の蹉跌と更生開始

当企業が更生法適用申請をした事及び裁判所がその開始決定した内容については、私は幾多の疑問を持っていますがそれは省略するとして、当支部が現実これに当面した事は大きな衝撃であつたろうと思います。

一般に更生会社の事業管財人は関係金融機関、債権者または同業者等から選任されるのが妥当と思われませんが、当企業と無関係な私が必要を受けて管財人となり、続いて社長として当支部との折衝に当たってまいりました。

三、更生会社と組合活動

その間大阪亜鉛支部の歴史の三分の一以上を経過しましたが、一方企業は第二次石油ショックに基づく原材料暴騰、需要

の激減、得意先の倒産等悪条件に挾撃されました。

私としては始めから労働者の利益向上が目標であると宣言しながら満足な成果もあげられず、そればかりか当企業の再建は不可能であると考えた事も何回かありました。

その場合無言の中に、私に努力を続けるよう刺激してくれたのは組合の活動でありました。しかもそれは戦略と具体的対策を伴ったものであり、当企業が現在あるのも組合活動に負うところ大であることは明らかであります。ここまできたかには大阪亜鉛支部の続けての発展を期待すると共に、その為には当企業自体を安定させることが絶対条件であると考えております。

相協力し、大阪亜鉛の真の再建を

大阪亜鉛鍍金株式会社更生法律管財人

児 玉 憲 夫

組合の皆さん 支部結成三〇周年おめでとうございます。長い間、本当にご苦労様でした。この三〇年間は、日本経済が高度経済成長を遂げ、一次・二次の石油ショックで低迷に転じ、続いて円高などを経て、社会全体が複雑な様相を呈して今日に至る激動の時代に当たります。

殊に、貴組合はこの間、会社更生法下での職場再建という困難で厳しい体験をされました。橋井委員長をはじめとする皆さんのご苦労は並大抵のものでなく、感慨ひとしおであろうと

思います。

私と皆さんの出会いは、昭和五〇年七月、管財人のひとりとして「官製合理化反対」という横断幕に迎えられて会社に赴

いたときでした。第一回の団交を持ったときの執行部の皆さんの職場の維持と再建にかけた熱意と厳しい迫及が眼に浮かんできます。

管財人としても、当時在籍した二八〇名の従業員の生活を確保できるか、それとも彼らを雲散霧消さしてしまうか、につき深刻に悩みました。現在もその悩みは解消しておりませんが、その後の大阪亜鉛の業務遂行は、いろいろな面で貴組合と田村管財人（現社長）ら役員との共同作業でなされました。いや、主体は貴組合であったといって過言ではありません。その意味では、倒産法下の組合の在り方、自主的な職場再建についてテストケースとなるものといえましょう。

先ゆき不透明な時代ですが、今後とも相協力し大阪亜鉛の真の再建に努力して参りたいとおもいます。貴組合が結束を深められ、職場や地域での活動を更に発展されんことをお祈り致します。

「大阪亜鉛」の真の再建を

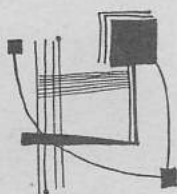
呼びます。

この大阪亜鉛の再建の過程は、順調に進んでいく。その中で、世企業自身も苦境を甘んじることなく、再建に努めようとする。これは、世企業の再建の過程である。世企業は、再建の過程で、世企業自身も苦境を甘んじることなく、再建に努めようとする。これは、世企業の再建の過程である。世企業は、再建の過程で、世企業自身も苦境を甘んじることなく、再建に努めようとする。これは、世企業の再建の過程である。

世企業は、再建の過程で、世企業自身も苦境を甘んじることなく、再建に努めようとする。これは、世企業の再建の過程である。世企業は、再建の過程で、世企業自身も苦境を甘んじることなく、再建に努めようとする。これは、世企業の再建の過程である。

II

三〇年のあゆみ



はじめに

敗戦後ほうはいと結成された労働組合は、GHQの二・一スト中止命令（一九四八年）、下山・三鷹・松川事件などの権力の謀略事件、そしてレッドパージ攻撃にも怯まず、占領軍の支援のもとで結成された総評をも、平和四原則（全面講和、中立堅持、軍事基地を提供しない、再軍備反対）を掲げて結集することなどを通じて、「ニワトリからアヒルへ」といわれたように戦闘化させた。

総評運動は、高野実氏が提唱した「ぐるみ闘争」の闘いを経て、一九五五年には春闘が始まった。「経済白書」で「もはや戦後でない」と宣言された年である。

「昔 軍隊、今 総評」という労働運動をめぐる状況の中で、一九五八年、総評全金大阪亜鉛支部が産声を上げたのである。

当時、「港は大阪のふきだまり」と言われていたが、我々の職場もその例外ではなかった。

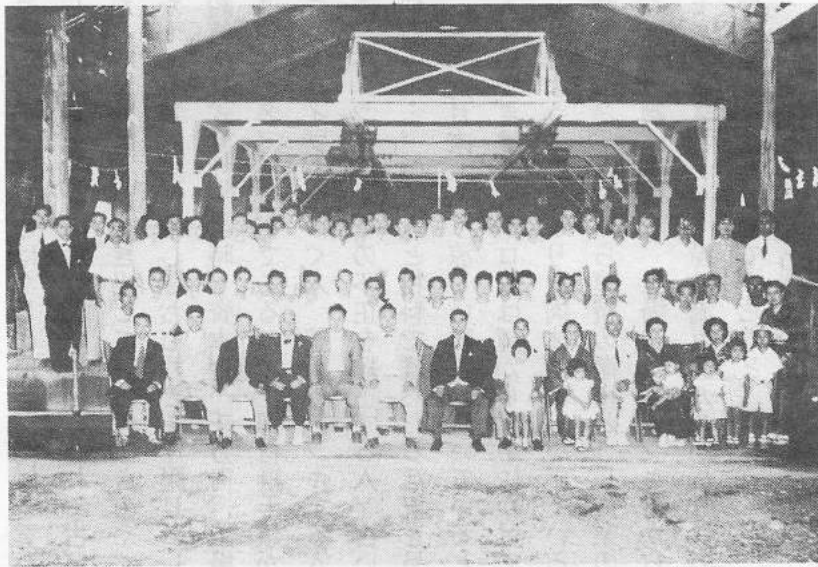
組合結成一〇周年記念誌「あゆみ」では次のように書かれている。

『大阪港区、築港第三突堤に面し、四方を河川に囲まれた低地帯の一角、当時誰とはなしに通称福崎村と言われ、その泥だらけの福崎街道ぞいに、旧兵舎といわれる古びた木造の一棟からぶっかこうに突き出している煙抜きやぐらと煙突だけがかるうじて工場らしきおもむきを浮彫りにしていた大阪亜鉛鍍金株式会社。当時、資本金一千万円、工場で働く従業員は約二百名。鍍金材であるパイプ鋼材継手類が各所に山積みされ、パイプをかつぐ人、釜場でメッキする人、仕事場で一本一本メッキパイプの不正を矯正する人、古い機械でねじを切る人……。働く人と材料で雑然たる活況を呈していた昭和三年九月末。もう涼しい秋風が吹いているというのに働く人々のつぎはぎのボロ服は肩から背中にかけて水でもぶっけられたようにびっしりと肉体にはりついている。

長時間残業と、昨日から連続の徹夜とうし作業の疲労のため働く人々の顔は青白く、工場内にはメッキ場から流れ出るアンモニアガスと、洗浄場の流塩酸ガスがたちこめ、異様な悪臭が重苦しくたちこめていた』と。



小釜風景



本社工場落成記念写真（1951年8月25日）

1958

が続いた。

一九五八年九月、七名が全金港合同に加盟。そして、九月二十九日、三二名で大阪亜鉛支部を結成し、会社に通告した。会社は一部現場職制、一部職員を中心にした御用組合を約三〇名で結成させた。しかし、その後仕上げ班の人を中心に二十数名が全金に加盟し、その他鉄工部など新たな加盟者も加え、八〇名を越える勢力になった。

【政治経済】
大衆運動取り締まりの警察官職務執行法改悪反対運動が盛り上がる。
【社会】
原水爆禁止を訴える広島―東京一千キロ平和行進、六月二〇日に出発。東京タワー完工式三三メートル、当時世界一。

全金支部と御用組合は、お互いに反目しあい、職場においては、組合員の獲得合戦

【世相】
「団地族」
「私は貝になりたい」

★☆☆☆☆

共ニ 対 策 (工務・製糖・製菓)

★☆☆☆☆

共ニ 対 策 (工務・製糖・製菓)

☆☆☆☆

井坂保 (工務・検査・職員班)

☆☆☆☆

思えば、私も昭和二〇年後半に少しだけ福岡に居住したことが有り、当時の福岡一帯は埋立地で雑草と葎の生い茂る中で旧陸軍の高射砲陣地の残骸があり広々とした荒地が転々と有り、また道路に關しても未舗装、福岡橋も丸太の橋で車の通りも全くといってなく、夜は人通りもない暗いところでした。

それが今日では、年代が年々経過するに於いて日本の経済も著しい成長と発展を遂げ、大小の企業も続々と進出し、様々な繁栄を続けてまいりました。

私も昭和四一年ふとした縁で大阪亜鉛に入社しました。二〇年のあいだ、汗と血、涙、先輩同輩の移り替え、そして倒産・更生法等、色々な問題に直面し、一時は将来の身の振り方まで考えた時もありましたが、今にきつと会社は

良くなる、立直ると信じて今日まで頑張ってきました。

組合は苦しい中にも職場における文体活動など盛んに行われ、人と人の調和を計ってきました。私にとっても明日への仕事の潤いと楽しみになるのは勿論のこと、それに専念できる有意義なものと思っています。

また厳しい社会情勢の中であらゆる苦難の道を乗り越え会社を現在まで持続させたのは、ひとえに皆一人一人の尽力によるものだと思っている次第です。

これから先、更に組合員一同総力を結集し明日につながる未来のために生産と品質の向上を計り、会社の発展を願って共に闘って頑張っていこうではありませんか。

1959

組織攻防戦は、四月まで続いた。この間多くの仲介者の労も実らず、結局、五月二日双方の組合幹部で自主的に統一懇談会を開催し、双方の統一のための合同執行委員会を開き総評全国金属労働組合の名のもとに合併統一をした（五月七日）。

役員は全金支部役員をそのままにし、もう一つから副委員長一名、執行委員二名を加え、五月九日統一大会を開催し、全国金属の旗のもとに全現場労働者が結集した。

統一以後初の夏季闘争、初めての統一行動は安保打破南大阪決起集会であった（於 泉尾）。安保闘争に青年部を中心に大いに参加、チヨウチンデモも行われた。組合機関紙「春雷」、この年に発刊される。全金支部に統一されてから、会社の労働者に対する態度は少しは良くなったがしかし、出勤率や労働規律など特に目をつけはじめ、組合は会社から一人でも文句を言われることのないように団結を固めた。

〔政治経済〕

社会党、総評、原水協等で安保条約改定阻止国民会議結成される。

〔社会〕

国民年金法公布。三井鉱山、三鉱連に四五八〇名の首きり（三池闘争の開始）。

〔世相〕

週刊誌ブーム。岩戸景気。神風タクシー。南極でタロとジロが生存。テレビとマイカー普及。



組合結成後、初のメーデー

1960

組合結成三年目に入り、四大闘争を通じ賃金体系の改善、福利厚生活動など大きな実績を上げた。

なかでも、全力を上げて取り組んだ問題は賃金体系の改善闘争であった。誰もが計算できて、安定した賃金体系を目指した。そして、日給、保証給、衣服手当、家族手当、責任手当にて簡素化した体系を勝ちとった。

対外活動については、この年から全金南

地協幹事組合となる。

安保闘争には、チヨウチンデモをはじめ数回にわたって参

加した。

地域では

昌一金属で三名が支部結成。

【政治経済】

安保改定阻止国民会議、連日の国会デモ。六月一五日、この行動の中で東大生樺美智子さん、権力の手で虐殺される。六月二三日、新安保条約発効。

浅沼社会党委員長刺殺される。

韓国で、四月革命。李承晩打倒される。

【社会】

三池労組、一・二・四名の解雇を一括返上、

全山無期限ストに突入。

チリ地震津波被害、死者一三九名。

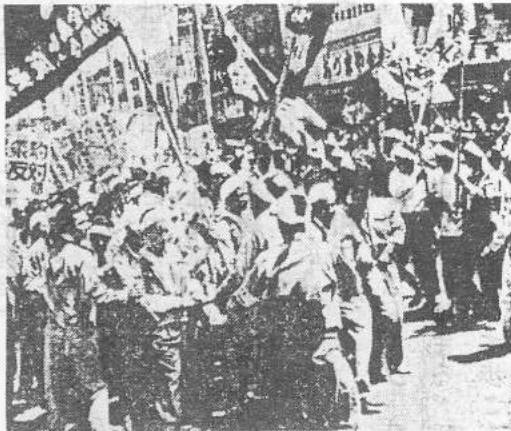
【世相】

ダッコちゃん。ローマオリンピックで体操で団体・個人優勝。婦人警官復活。インスタント時代。



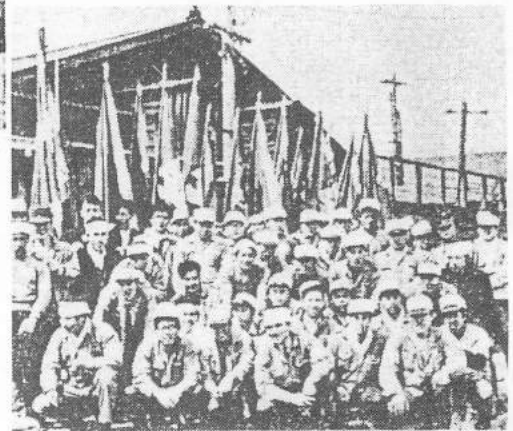
第31回メーデー

労働組合の発展
 青年隊の結成
 労働者の団結
 労働者の権利
 労働者の生活
 労働者の健康
 労働者の教育
 労働者の文化
 労働者の政治
 労働者の経済
 労働者の社会
 労働者の国際
 労働者の未来



メーデー、道頓堀筋を元氣よくデモ

道頓堀筋を元氣よくデモ
 労働者の団結
 労働者の権利
 労働者の生活
 労働者の健康
 労働者の教育
 労働者の文化
 労働者の政治
 労働者の経済
 労働者の社会
 労働者の国際
 労働者の未来



60年年一闘争で青年行動隊結成

1 9 6 1

春闘において、執行部は退職金問題に全力を傾注していたため春闘を断念しようとしたが、組合員の強い声により急遽三五〇〇円の賃上げ要求を提出した。執行部は、一二五〇円で妥結しようとしたが大会で否決された。執行部は、「これ以上の賃上げは不可能」と判断し、総辞職を決意したが、春闘終結することで問題解決した。職場の根強い闘いの意欲を示すものだった。

委員長出口氏の懲戒解雇攻撃発生、全金南地協などで検討の場がもたれたが、組合の統一と団結を守るため地方労働委員会に出口氏個人申立てという形で取り組みをすることになった。

また、第二室戸台風（九月一六日）において組合員の三割の過程が被害を被り、また職場でも会社の状況判断の甘さで浸水一時間前まで作業を強行し、その結果会社創立以来の損害を被った。組合は、救援対策委員会を設け被災者家族に対する全面的な救援活動を行った。

この年、関東亜鉛が設立された。

【政治経済】

自民、民社両党は政治暴力行為防止法案を国会に提出したが、強い反対運動の前に廃案にされた。

【社会】

沖縄で祖国復帰県民総決起集会に二万人参加。

【世相】

ソ連ポストーク一号有人飛行に成功。レジャーブーム強まる。睡眠薬遊び流行。坂本九の「上を向いて歩こう」大流行。



第 32 回 メーデー



1 9 6 2

春闘では、大阪亜鉛の春闘支援のために全金南地協主催で各支部根こそぎ動員の総決起集会が二〇〇〇名で開かれた。時限スト、半日スト、全面ストなどの実力行使で会社回答を一〇〇〇円から二一五〇円まで引き上げた。

九月下旬、会社は突然職制機構改革（職制の増員）計画を通告、一〇月一日から実施するとの連絡があった。これは、職場の民主化に逆行する封建的職階制度（四階級制、六人に一人の職制）であった。職場では真剣に論議され組合との協議を無視して強行しようとする会社の態度に対して、一〇月三日の臨時大会では、計画反対のスト権投票が二〇三対五七で確立した。

【政治経済】

自衛隊北海道松島演習場で地元酪農民が生活を守るため、電話線を切断（札幌地裁で無罪判決）。

アメリカ、ベトナムに軍事援助指令部を設置。

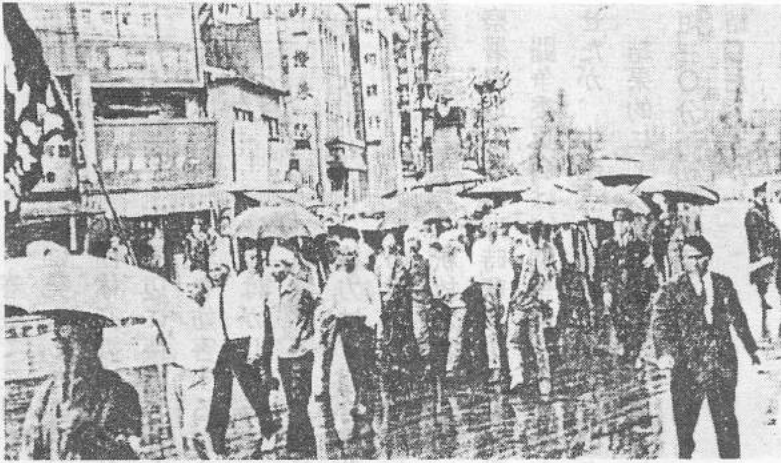
【社会】

東京都人口一千万突破。

【世相】

スモッグが問題化。堀江謙一、ヨットで太平洋を横断。ファイティング原田、世界フライ級チャンピオンになる。

「青田買い」、「人づくり」



第33回メーデー
(1962年5月1日)



第5回定期大会



1963

春闘で三月一九日より、全面無期限スト

に突入した。三月二五日、午前〇時に及ぶ団体交渉中、会社は港警察の機動隊を工場周辺に待機させた。三月二八日、会社は闘争を妨害するために、非組合員を使ってビラはがしやデモへの挑発を行った。これに抗議すると、会社は警察権力を導入した。

権力は、組合事務所を搜索し、同時に五名の組合員を逮捕した。支部は、五名の即時釈放と救援活動に取り組み、三百余命で警察署を取り囲み即時釈放の抗議行動を展開した。

闘争委員会は、闘争資金獲得のため過半数を外部に就労させたが、生産点を離れた闘いは闘争力を弱める結果になった。結果的に、六二日間でストを打ち切り、解決内容として、時短三〇分、初任給引き上げ、五名の解雇撤回を確約させて終結した。

【政治経済】

アメリカ大使、原子力潜水艦の日本寄港を申し入れる。ケネディ大統領、ダラスで暗殺される。

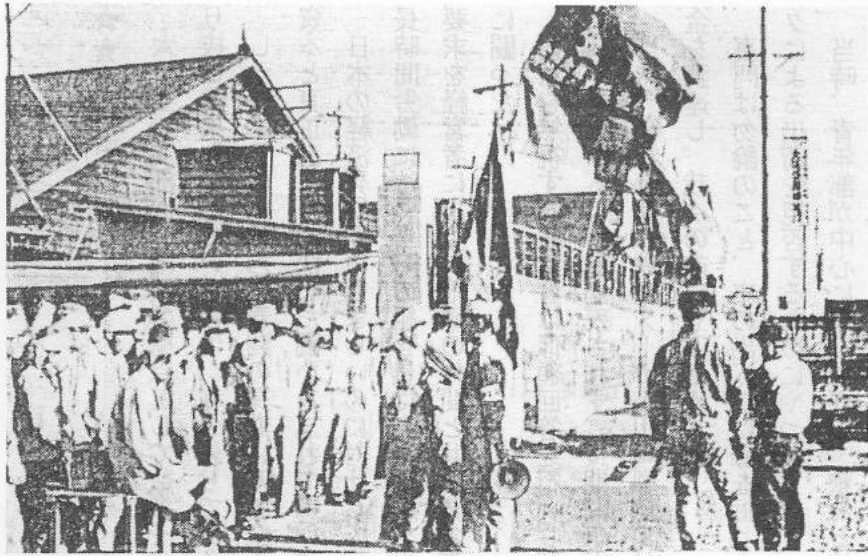
【社会】

埼玉県で狭山事件発生、無実の石川氏逮捕される。

【世相】

ボウリング人気高まる。

「ハッスル、ハッスル」、「いいから、いいから」



機動隊来る／ の情報に門前に結集した組合員



スト中の正面前の座り込み



ロックアウトはしないとの会社回答に
勝利の声 (1963年5月)



陣笠スタイルの
第34回メーデー

☆☆☆☆

中尾重光

☆☆☆☆

大阪垂鉛支部が、地域の拠点として数多くの闘いをやり抜き成果を挙げているのは、私の誇りである。

しかし、その中で六三春闘の長期に亙る全面ストで、資本と真正面より対決した闘いを忘れてはいけない。

日本の経済発展がめざましいのに対比して、低賃金と長時間労働に泣く当時の組合員は、全金の方針通り賃上要求を経営者に出し、地域の仲間と共に要求貫徹のために闘った。

要求を無視する経営者は低額回答を行い、我々は全面ストで対決するしか道が残されず、長期闘争が始まった。

当時、経営者は、鉄鋼メーカー川崎製鉄より巨額の資金を調達し、我々の前に立ふさがあった。

裏門は勿論のこと、車の出入口は濠を掘った。トラックによる出荷を拒否するためにやった。

当時、青年部が中心になりながら、整然と抗議行動を繰り返した。

しかし、収入が無く一部の仲間は戦列を離れてアルバイトをやりだし、闘いに焦りがでた。連日拡大闘争委員会が開かれ、その方針に苦慮したのを憶えている。

経営者は、些細な出来事を口実にして、仲間を権力に逮捕させ、我々の挫折を狙ってきた。

この汚いやり方にますます闘争心を燃やしたことを昨日のことにように思う。

数々の思い出がある。敗北したとはいえ、六三春闘の闘いが一番の思い出である。

大阪垂鉛支部の益々の発展をお祈りします。

(なかおしげみつ 組合結成時の七人の内の一人、一六期

から二二期まで執行委員で教宣担当として活躍、通称シゲヤン、一九八五年九月定年退職)

1 9 6 4

昨春闘の敗北を受けて、組合は労働協力を基調とした運動の中で、権利を守り生活を向上させることを理念としたが、経営者は企業回復をバックに組合に対する警戒心を緩めず、一方的に会社意識を鼓舞するやり方は組合員の期待と努力を裏切った感があった。

当初、支部が基調とした労使協力は、長期争議後の労使の苦しい状態の中で、お互い対等な立場で理解しあいながら生活の向上を図ろうとしたが、企業のみを主体とした経営者の一方的な労使協調ムードとのすりかえの現実を許したことは、いかに組合の体制が弱体であっても自己反省を要する必要があった。

地域では

協和金属支部結成。

田中機械支部、同盟を脱退し全金に加盟。

【政治経済】

社会党、総評を中心にベトナム反戦集会。

アメリカ原潜シードラゴン佐世保に入港、反対運動盛り上がる。中国、初の原爆実験を行う。

【社会】

オリンピック、東京で開催される。東海道新幹線開業。

【世相】

海外旅行ブーム。

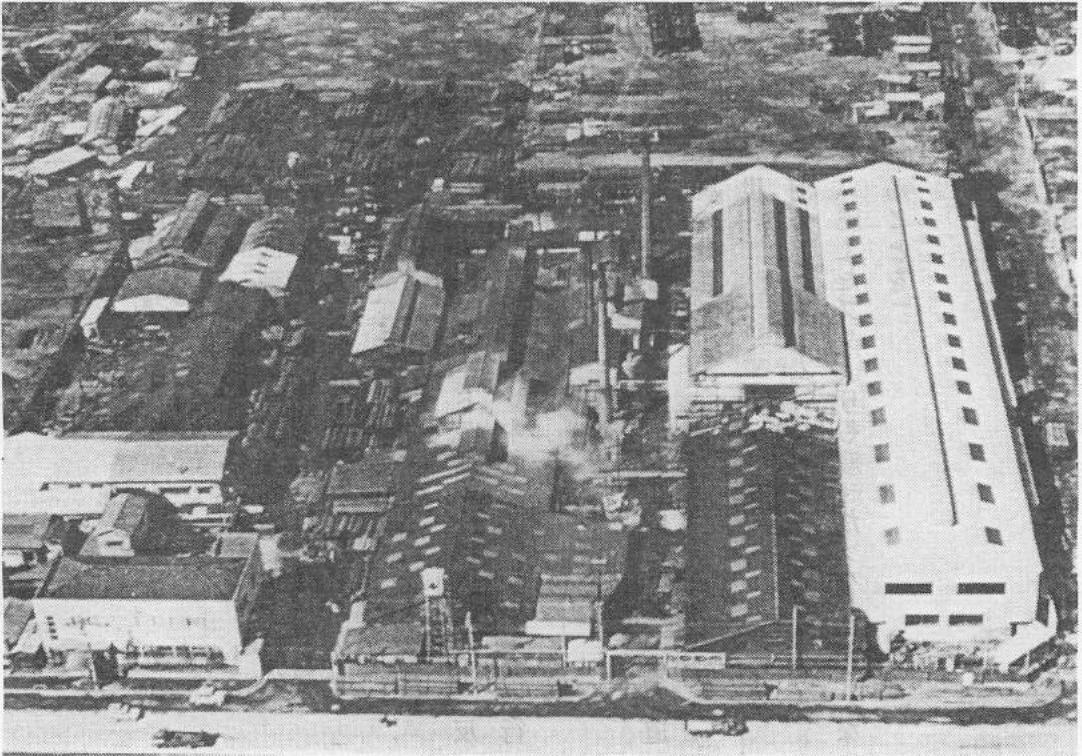
「肥えたブタよりも痩せたソクラテスとなることを」



文化体育部 1周年記念Xマスパーティー

くる心裏に
 こころお
 皆幸の
 依るま面
 の中、
 射撃は
 くる裏に
 親と娘共
 共扶する
 じぶん、
 静寂を守り
 世を待たぬ

1964年2月1日撮影の会社全景



1 9 6 5

六三春闘の痛手は、未だ消えなかった。

敗北後、二年を経過したが、ストに対する恐怖などが根強く残りスト権の集約など、口に出せない状態であった。このような状態の中で、生活と権利を守る闘いは困難なものがあったが執行部をはじめとする献身的な努力で一定の経済条件の前進を勝ちとった。

とはいえ、総評が大巾賃上（五〇〇〇円）の要求を打ち出してから五年目の春闘であったが、昨年、一昨年と二二〇〇円の実績でしがなく、他の支部に比較して大きな開きがあった。

九月、会社は受注量の減少を理由に、①大釜の食休継続作業、②中釜稼働中止、③一部時差出勤の実施、④応援配置転換、等の合理化案を提示した。組合は、合理化案絶対反対の立場に立ち、会社との団交を重ねた。職場からも職討を通じて闘いの体制は日増しに確立されていった。

一〇月中旬まで団交が続けられたが情勢が変わり受注量が増加し、会社はこの合理化案を撤回せざるを得なかった。

地域では

田中機械支部、夏季一時金闘争でロックアウト攻撃を粉碎するなど五三日闘争を展開。

〔政治経済〕

佐藤首相、戦後初めて沖縄訪問。

アメリカの北爆再開。

中国文化革命始まる。

ソ連初の宇宙遊泳。

アメリカ宇宙船ランデブー成功。

〔社会〕

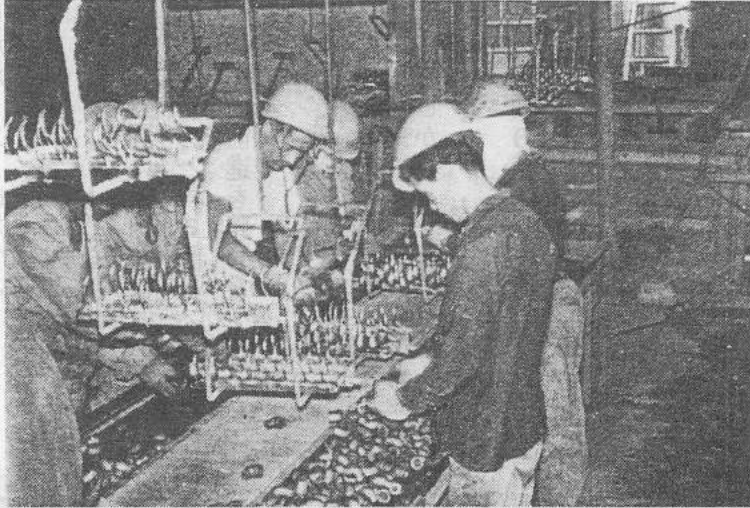
ベ平連主催のデモ行われる。原水禁結成。

〔世相〕

エレキブーム。東京に初のスモッグ警報出される。朝永振一郎、ノーベル物理学賞を受賞。



第36回メーデー



鋼管継手の半自動メッキ装置



1965年当時の中釜

大三造船の船手は、大工師天宮が...

「〇員中...」

1966

六三春闘から三年、会社は合理化攻撃を強めるが、組合員の中に闘う意欲が強くなってきた。

昨年一月より、松下メッキの倒産により小釜の受注量が増加し、組合としては、暫定的処置として、中釜の変則応援体制を容認していた。しかし、新年に入っても受注の見通しがはっきりせず、ぎりぎりの期限として二月までの応援体制を認め、一方で「人員の増員」「継手メッキ自動装置の

導入」などの指摘をした。しかし、三月に入り、更に会社は応援体制の続行を固持する事態の中で、応援拒否反対の闘いに突入した。三月四日、団交は決裂し会社は業務命令で強行すると通告してきた。組合は、五日臨時大会を開催し、一六二対七七で業務命令反対のスト権を確立した。六三春闘後初めて、スト権がここに打ち立てられた。業務命令書をつき返し、一二日まで六日間三〇分間の全体時限ストと執行部九名の部分ストによる実力行使によって、完全勝利を勝ちとった。

【政治経済】

アメリカ原潜、横須賀に初の入港。ベトナム反戦闘争激化。

【社会】

第一回物価メーデー。

総人口一億人突破。

【世相】

ザ・ビートルズ来日。三C（カラーテレビ、クーラー、カー）時代。ミニスカートが上陸。

【労働経済】

さかしま

田中製紙支店、職用二階を戦場、闘いで勝つ

闘争つお

1967

組合結成十周年に当たり、経済条件の面運動面において、全金拠点支部並の条件を達成した。

給食改善、文体活動の民主化協定、設備投資の民主化協定、更に生産委員会の民主化などについても、労資の協議会、団交の中で、組合の主張する方向に経営者が理解し円満解決をはかった。

春闘は、全体的には低調な春闘であったが、会社の赤字宣伝、職制幹部教育を通じての企業意識の培養等の攻撃を打破し、過去最高の四二〇〇円の賃上げを勝ちとった。現行の深夜割り増し手当三五%、年末年始特別手当一〇〇〇円は、この時に。

夏闘では六三春闘後初めての長期闘争になった。夜勤拒否戦術、重点部分スト、時限ストなどを駆使し、組合結成一〇年目にして拠点支部並の一〇万円台の一時金を獲得した。

地域では

田中機械支部、御用二組を解体し闘う統一をはたす。

【政治経済】

イスラエル軍、シナイ半島を制圧（中東戦争始まる）。

佐藤首相、衆院予算委で非核三原則を言明

【社会】

海上自衛隊二千人が伊勢神宮に集団参拝、憲法違反として問題化。

【世相】

高見山、外人初の関取。ゴーゴー喫茶。

「アングラ」、「フーテンぞく」

1 9 6 8

労働条件改善の闘いが精力的に取り組み、スト権の完全保証や、労使同数の各種委員会が設置あるいは、改組（民主化）等が勝ち取られた。

春闘では、二五項目の支部要求と六〇項目に及ぶ職場要求が提出され、現行の被服手当四〇〇円および近郊手当は、この時勝ち取られる。秋闘は、この年が最初。人事約款（定員制の明示等）、組合活動の自由、労災補償三〇〇万円を勝ち取る。

一時金の配分（一律三五％、給比四五％、勤統一五％、家族五％）の要求は、一九八六年まで続く。その他、食休継続作業や総額約九〇〇〇万円にのぼる臨時設備投資計画に関する協定の中で、「事前協議」が明文化された。

この年、組合結成一〇周年、ならば花月で記念行事開催。記念パンフ「あゆみ」が発行される。

地域では

細川鉄工支部、九条シャーリング支部結成
細川鉄工支部、四八日間の闘い。

〔政治経済〕

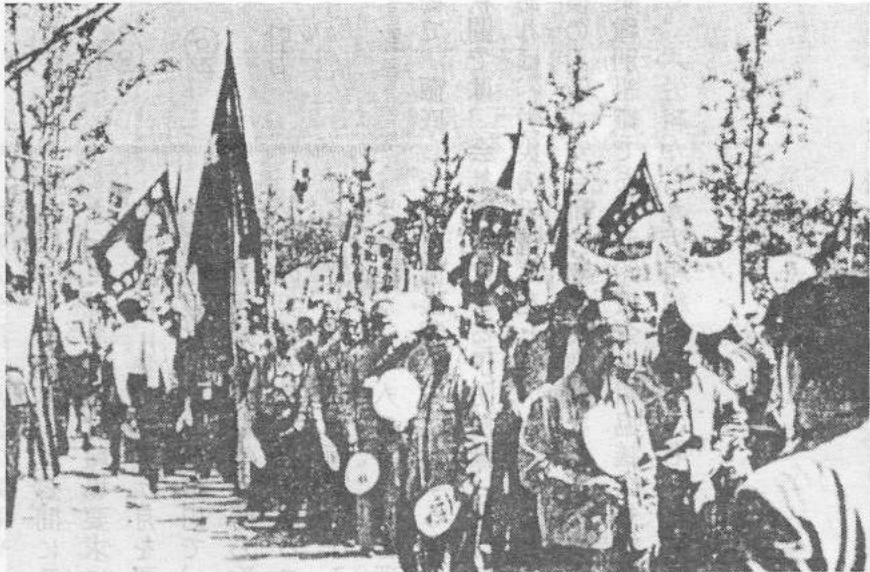
エンタープライズ佐世保入港。アメリカで黒人指導者キング牧師暗殺される。参議院選挙でタレント五名当選。

〔社会〕

金婚老事件。日本初の心臓移植手術を実施
現金三億円強奪事件発生。

〔世相〕

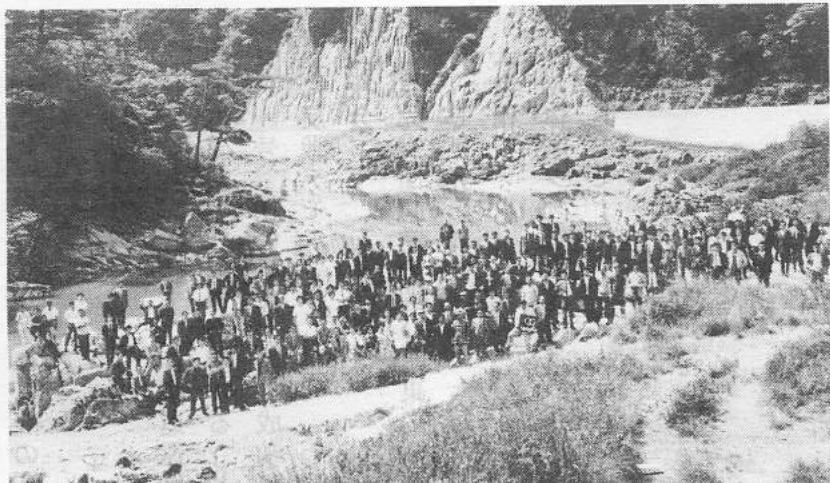
シンナー遊び激増。霞ヶ関ビル完成。
「昭和元禄」「ハレンチ」「ゲバルト」
「サイケデリック」



第39回メーデー (1968年5月1日)

春闘の一環として行われるメーデーの行進、集合

メーデーの行進、集合
 大規模な行進
 市民の参加
 労働者の団結
 春闘の第一歩
 市民の参加
 労働者の団結
 春闘の第一歩



下呂温泉への慰安旅行 (1968年6月)

慰安旅行

下呂温泉への慰安旅行
 大規模な旅行
 市民の参加
 労働者の団結
 春闘の第一歩

1 9 6 9

春闘は、その前段から講師を招き、都合三度の全員学習会の開催や、リリースト、時限スト等延べ一五日間に及ぶ実力行使によって闘われた。職場要求に関する闘いに至っては、集約に五ヶ月を要した。この時の賃上げは、八二〇〇円で、併せて傘の常備、看護婦の常駐等が勝ち取られる。

この年の五月、会社から二三項目からなる「賃上げ吸収計画案」なる合理化が提起されたが、一人の首きり合理化も許さない

立場で、徹底した事前協議制を内容とする条件を確認させた。

秋闘では、会社負担による予防接種、現行の「労災の疑いがあれば、労災の手続きをとる」ということや、火傷等特別補償の設置、安全靴の無償交換制などが勝ち取られた。

業種別組織である亜鉛鍍金労組協議会も組織的に大きく発展し、六労組から九労組約一三〇〇名へと発展した。

地域では

細川鉄工支部、一五〇日間の闘い

【政治経済】

佐藤首相、参院で「沖縄返還は、核抜き、基地本土並の方針で折衝する」と表明。アポロ一一号、初の月面着陸に成功。アメリカ全土に反戦デモ。

【社会】

東大安田講堂の闘い。東名高速道路開通。GNP世界第二位。

【世相】

反体制フォーク流行。「おおモーレッツ」、「エコノミック・アニマル」



第40回メーデー



（新幹線沿）
 式業にヤレじくで支店五〇日間の開
 矢貫處特支店録知
 駐対すお
 第12回定期大会



1 9 7 0

七〇年安保のこの年は、合理化問題で幕を開けた。企業経営が黒字に転換した中で会社から、プラント輸出、小釜の廃止、パイプ専門工場への近代設備合理化三億円計画などが提起され、外国出張者の身分保障を勝ち取ったほか、小釜の廃止を認める一方で、職制の削減、余剰人員の適正配置事前協議などを内容とする機構改革を勝ち取った。

春闘、秋闘では、生理有給休暇一日や工場入口の組合掲示板の設置などの組合活動の自由拡大、会社による傷病手当金の立替払いの他、作業環境改善のための各種装置の設置などが勝ち取られた。年末一時金二〇万円。

地域では

矢賀製作支部結成。

九条シャーリング支部五〇日間の闘い。

【政治経済】

八幡、富士が合併し、新日本製鉄発足。

沖縄で、戦後初の国政選挙。

【社会】

沖縄全軍労大量解雇撤回を要求し、四八時間ストに突入。国産初の人工衛星「おおすみ」打ち上げに成功。万国博覧会開催。日本赤軍、よど号をハイジャック。三島由紀夫、自衛隊乱入し割腹自殺。

【世相】

歩行者天国、世界で二番目の試み。ママさんバレーが普及。ディスカバージャパン。

「鼻血ブー」、「アサー」、「シラケ」

1 9 7 1

賃上げ、一時金増額による赤字経営への転落を理由とした合理化攻撃が一段と強まった。

会社は、三直交替制の導入や中釜の変則二直制、職制の入れ替えを内容とする機構改革、知多工業の設立、丸昌工業への長期出張などの合理化案を、矢継早に提起してきた。

組合は、この攻撃に対して徹底した内部討議を通じて、赤字原因を賃上げ、一時金増額に求める企業論理の欺瞞性に対する認識を深化する中で中釜の変則二直制の導入は阻止した。また、知多工業の設立や丸昌工業長期出張などの問題では、労働者に悪影響を及ぼさないことを内容とする協定を勝ち取る中で、赤字に対する企業責任を追及していった。

地域では

細川鉄工支部、八六三日間の闘いに突入する。

ゴミ焼却炉設置（練炭跡地） 反対運動。

〔政治経済〕

沖縄全軍労、三〇〇〇人の大量解雇に四八時間全面スト 沖縄全軍労など五四組合、沖縄返還協定反対で初の二四時間ゼネスト。環境庁発足。アメリカ全土で、即時停戦を求めるベトナム反戦デモ。インド、パキスタン全面戦争。

〔社会〕

成田空港公団、三里塚農民の土地の取り上げに強制執行を行う。

〔世相〕

横網大鵬引退。NHK、全放送のカラー化



城崎温泉への慰安旅行（1969年5月）



「三井会」のレクリエーション（1971年10月 於 京都嵐山）

1 9 7 2

前年に引き続いて合理化問題で揺れ動いた年である。

年明け早々、会社は、人員削減と「職場の機動性確保」に名をかりた、配転および応援作業の常態化を内容とする機構改革の具体化を提起してきた。組合は、内部討議による問題点の把握に努力する一方で、一三回に及ぶ労使協議会の中で会社を追及していった。しかし、具体案の実行を阻止するまでには至らず、社外工六名の削減を認め、また他、配転、応援作業の限定という妥協を勝ち取るにとどまった。

この年、鶴見工場分離にともない、新会社横浜ガルバーの設立が確認される。「横浜ガルバーは、OGグループの一員」などを内容とする協定が勝ち取られた。

地域では

細川闘争、三〇四〇〇名の地域労働者による連日の抗議行動等で、暴力ガードマンを追放。

九条シャーリング支部、住金物産を包囲、糾弾する九三日間の闘い。

【政治経済】

沖縄施政権返還。通産大臣田中角栄「日本列島改造論」を発表。社会党と労働組合など相模補給廠のベトナム向け戦車輸送を座り込みで阻止。日中共同声明に調印。アメリカ、北爆を開始。ウォーターゲート事件発生。

【社会】

横井庄一、グアム島で救出。浅間山荘で銃撃戦。

【世相】

パンダ・ブーム。
「恥ずかしながら」、「ウッッッッ」



平井七郎、会友、入
 大平フミタ
 備後町ビルディング合組



住金物産を攻め、
 企業再開を勝ち
 とった九条シャ
 ー92日間の闘い



細川鉄工所に導入された暴力ガードマン

1973

年間を通じて、要求内容、行動において港における地域共闘の運動を色濃く表した。

春闘では、地域統一要求として、配分やガードマン雇用禁止などを掲げ、行動面においても、地域統一行動の一環として、残業拒否、鉢巻就労等で闘われた。特に、ガードマン雇用禁止を勝ち取ったことは、地域共闘が強力であったことを物語っている。

夏一時金闘争でも、職場委員会が連日の早朝歌声集会を組織する一方で、各職場の代表が大衆団交に参加する等の取り組みがされた。

こうした闘いの中で、会社は大釜移設に伴う大幅な人減らし攻撃をかけてきたが、強力な闘争体制の前に撤回された。秋闘では、健康保険料の会社負担を七割にさせるなどの成果を挙げた。冬一時金三二五〇〇円。

地域では

細川闘争、完全勝利。この躍動的な闘いを通じて、企業内小数を地域総体で支える地域共闘の体制が確立。この時のスローガン、「職場に砦、地域に共闘」。

【政治経済】

変動相場制へ移行。金大中氏、東京で拉致される。第四次中東戦争勃発。オイルショック。

【社会】

七〇才以上の老人医療無料となる。水俣病訴訟、熊本地裁で患者側の勝訴。オイルショックでガソリン、紙など品不足、買いただめ客殺到。

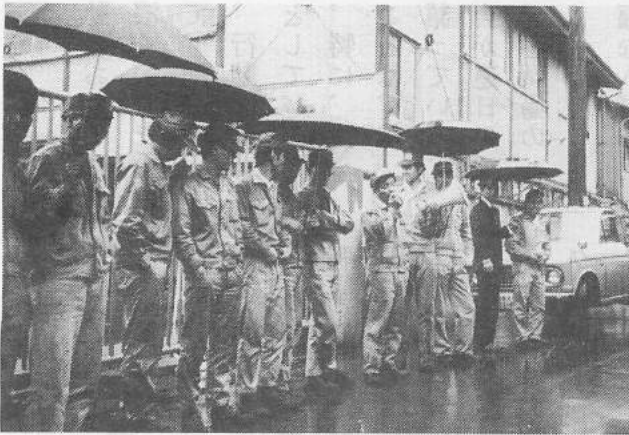
【世相】

ハイセイコー、高人気。
「ユックリズム」、「チヨットだけだよ」
「狭い日本、そんなに急いでどこに行く」

細川斗争完全勝利 更なる階級斗争の発展を



雨の日、雪の日、連日闘いぬかれた細川斗争



雨の日、雪の日…、連日闘いぬかれた細川斗争

1974

新年早々、前年末に再び提起された大釜移設に伴う、人員削減を骨子とする合理化攻撃に対する闘いで始まった。

一定の解決をみるまでに約半年を要したこの闘いは、九回の団交と徹底した職場討議、大釜班を中心とした抗議行動などが組織され、定員の明示や要員補充、配置転換の一定の歯止めなどを内容とする協定を勝ち取った。この時の夜勤配置要員は、大釜に二五人、中釜に二〇人、精製一八人だった。

夏闘、秋闘で、長期欠勤者の取り扱いに関して、「傷病治療後は、原則として原職復帰」や労災特別保障の上積（遺族補償一〇〇〇万）などが勝ち取られる。冬一時金四四三〇〇円。

地域では

新組織の結成あいつぐ。貝塚運送、協和機工、寿鋼管、佐藤金庫など。

協和機工支部に偽装倒産攻撃、新和工業支部に自己破産攻撃を皮切りに倒産攻撃、組織破壊攻撃が激しくなる。

【政治経済】

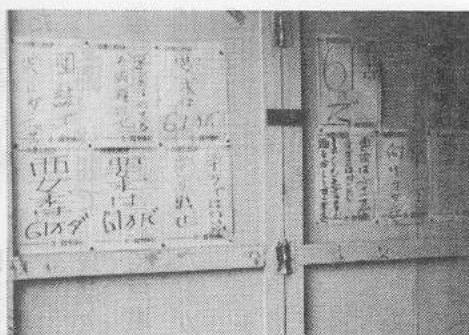
田中首相、アジア各地で反日運動に立ち往生。ニクソン、ウォーターゲート事件で大統領辞任。ラロック退役海軍少将、日本への核持ち込みを証言。

【社会】

小野田寛郎、ルバング島で救出。連続企業爆破事件続く。原子力船むつ放射能漏れ。長島茂雄、現役引退。

【世相】

超能力ブーム。「ベルサイユのバラ」



74年末一時金闘争

破する闘争の旗を掲げ、
 闘争に、人員削減や賃下げを
 早急に対抗する闘争を繰り出す



相次ぐ組織破壊攻撃に、昼休み集会、張り付け、泊りなど、日常闘争を強化して対決

1 9 7 5

四月二十六日、市川資本は、突如会社更生法を申請。申立書には、現場三〇名の人員整理、一二%の賃金カットなどの内容がもられていた。七月二日には、更生開始決定が出て、田村秀次郎事業管財人、児玉憲夫法律管財人が就任した。

組合は、様々な調査活動、争議支部など地域との積極的な交流、法律や今後の方針などについての連日の学習会、討論会などを通じて、会社更生法を利用した官製合理化攻撃との意志統一をはかりながら、連日の泊り、張り付け体制を維持し、七月には大阪府地方労働委員会に対して救済申し立てを行い、そして社長宅の抗議行動などの取り組みをした。

また、夏闘、秋闘を通じて、未払い賃金などの労働債権の確保、一三〇〇〇〇円の救済資金の獲得、労災特別補償の上積み（遺族補償一一五〇万）などを勝ち取っていった。現行の毎月第一土曜の休日化や雇用保険料の会社七割負担、そして査定廃止などは、この春闘で勝ち取った。

この年の一〇月から八二年四月まで断続的に遅配、欠配。

地域では

矢賀製作支部、機械製品の強行搬出をたくらんだトピー実業との闘いに全面勝利。

共伸アルミ支部に、会社解散、全員解雇攻撃、七里製作支部に破産攻撃、浪華サドル支部に倒産攻撃。

【政治経済】

ベトナム人民完全勝利。三木首相、現役として終戦記念日に靖国神社に参拝。第一回先進国首脳会議。

【社会】

山陽新幹線が開業。

【世相】

広島、初優勝（赤ヘルファイバー）。『泳げ！たいやきくん』大ヒット。紅茶キノコ。

「オヨヨ チカレタビー」、「あんだ、あの娘のなんなのさ」



'75春闘、構内デモ

この年の10月、入二平四日、また津浦線に
 了査定の難山が、この春闘で罷り廻り、
 の時、度一土曜の休日、日外、重田、兼、編、博の会、出、
 遊本（恵誠、新、着、一、五〇五）が、大、都、を、都、り、
 新、着、一、三〇〇〇、四、の、旅、新、交、金、の、運、送、を、後、災、

この内容、
 三〇、の、人、員、
 突、破、会、共、更、進、



第46回メーデー（1975年5月1日）

献、越、つ、お

新、興、産、品、の、絶、対、出、産、出、産、式、



☆☆☆☆

田 畑 繁 (仕上 班)

☆☆☆☆

われ、配転、応援作業、様々な形で労働強化が行われたという辛い思いがあります。敗北の辛さを味わいながら労働者としての意識に目覚めてその後日々に団結力を強め、資本に對する反発心も生まれたと思います。

昭和三三年、労働組合結成から早三〇年、年月のたつのは早いものだと思います。私は、組合結成三年後に入社しましたので、それ以前のこととは良く解りませんが、我々の先輩が当時三〇数名で結成されたと聞いております。今考えると本当に辛苦の思いであつたらうと想像致しております。

支部結成から六年後、六三春闘が行われ、当時私は職場委員だつたと思います。初めて経験する闘争であり、どのように職場を一つにし闘いの方向に導いていくのか大変苦

勞しました。六〇数日間に及ぶ無期限ストライキの中で、

労働者と資本の違いを存分に知らされた闘いであつたと思

います。組合員も三〇〇数名いたのではと記憶しています。若い人も多くて闘いの中にも潑刺があつたと思います。

それにもかかわらず、六三春闘は結果的には敗北致しました。その後の職場は数年に互り資本の思う通り作業体制が行

1 9 7 6

倒産直後の工場がカラッポという状態を脱し、一定の仕事量も確保され、前年一〇月より停止されていた大釜の夜勤稼働も再開の目途が立ち、再建への手掛かりを掴んだ。しかし、市中銀行との取引停止という状況の中で資金繰りの悪化は継続し、要員補充もままならない厳しい状況が続いた。

労金運動の強化によって、資金繰り悪化の打開を摸索する一方、夜勤稼働に伴う二名の配転を認めるにあたり、徹底した論議を積み重ねる中で、企業運営を労働者の主体的力量によって握っていく、労働運動の領域拡大の方向を目指した。

また、脳卒中、公害ぜん息の労災認定や現行の厚生年金の七割会社負担を勝ち取るなど、安全、健康を守る闘い、権利確保の闘いも精力的にされた。現行の結婚一時金の一律二〇万円は、この七六春闘で、冬一時金、一律一七万円。

地域では

矢賀製作支部に会社整理、全員解雇攻撃、以降自主生産で闘いぬく。

港高周波支部結成。

浪速鉄工支部結成。

【政治経済】

中国、周恩来首相、毛沢東主席、相次いで死去。ロッキード事件で田中前首相逮捕される。南北ベトナム統一。

【社会】

民法、戸籍法改正（離婚後の姓の自由）。鹿児島で五つ子ちゃん。

【世相】

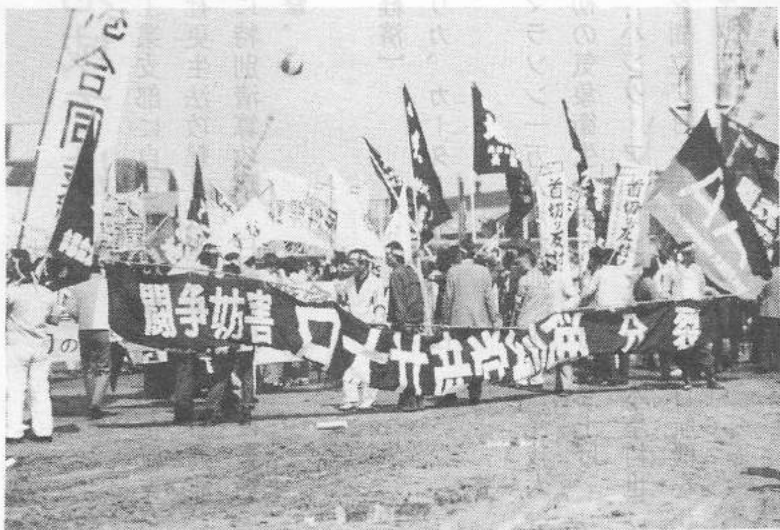
戦後生まれ、総人口の半数。

「ピーナツ」、「はしやぎすぎ」



意欲の樹立の
 更迭を以て
 の闘争を以て
 争議はされる
 実現しき
 五子の実績を
 決ま景況を
 案じてきき
 業、工務より
 大会は計り、委員

第47回メーデー
 (1976年5月1日)



「争議妨害」(日共)
 大旗
 革命員十三名、夫十八名の世界一、代

1977

再建闘争三年目を迎えたが会社は、要員不足の慢性化の中で、精製、工務よりメッキ課への四名の配転を提案してきた。

組合は、春闘で要員補充を最優先課題として闘い、配転の撤回と五名の要員補充を確認させ、四名の補充が実現した。

その他春闘では、初任給における男女差別の撤廃と初任給五千円の増額や賃上げ一万円を勝ち取ったほか、更生法以降、特に最重要性を増してきた同意約款の協定化の

闘いも精力的に行われた。この問題では、既に一九七五年当時、確認書が取られていたが、この時、田村事業管財人（現社長）、児玉法律管財人による念書の形で再確認された。

秋闘では、通災も労災と同じ扱いにすることや、騒音、釜替えについての対策を強化すること、等の取り組みがされた冬一時金一八万円。

地域では

日興工業支部に自己破産攻撃、協和金属支部に会社更生法攻撃―破産攻撃、大阪事務能率支部に特別清算攻撃、日産金属支部に会社解散攻撃。

【政治経済】

アメリカ、カーター大統領就任。

【社会】

青梅マラソン一万人が参加、死者、怪我人続出。初の気象衛生ひまわり一号打ち上げ。

王貞治、ハンク・アーロンを抜いて本塁打世界記録を樹立。日本赤軍、インドで日航機をハイジャック。

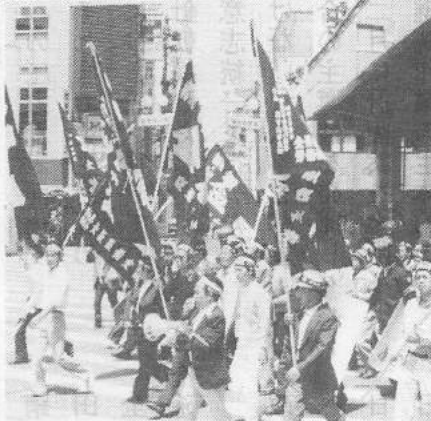
【世相】

平均寿命男七三才、女七八才で世界一。カラオケ大流行。

「よっしゃ、よっしゃ」、「ルーツ」



前年未だの「東洋新聞」の記者が、紙占エーサー、金



中 式 我
イ ヤ ム
新 舞 臺
栄 業 会
金 哲 合 同
中 刺 針
管 商 事



第20回定期大会

第48回メーデー



日ノ岬キャンプ
(1977年8月15日)

1 9 7 8

前年末から、債権者、独占ユーザー、金融資本から「更生計画の認可が行われていない」のを口実に会社への圧力が表面化するに至った。組合は、それまで更生計画の立案そのものを意図的にひき延ばさせていたが、早期立案へと方針転換した。

春闘では、この点の意志統一を行った。

労働者に犠牲を押し付けない、人格を尊重するという立場で、組合の主導性を発揮した取り組みを行い、一二月に計画案を大阪地裁民事六部に提出するに至った。食休継続作業の主体的な実行、夜勤体制の拡大充実など、職場の再建への自覚的な取り組みが行われた。

秋闘では、機構改革の要求を行い、管理機構のガンであった製造部長の追放と共に、機構の簡素化、各部署の連携、現場労働者の権限強化、の取り組みを行った。冬一時金一二万円。

この年六月には、橋井委員長が全金派遣団の一員として訪中し、中国総工会などとの交流の任を果たした。

地域では

鋼管商事支部、大阪倉庫閉鎖の攻撃。

田中機械支部に自己破産攻撃。

全金港合同、全港湾建設支部主催で、団結権確保集会。

〔政治経済〕

ベトナム、カンボジア国境紛争起こる。

日中友好条約、調印。

日米防衛協力のための指針「ガイドライン」を決定。

〔社会〕

三里塚空港管制塔が占拠される。

〔世相〕

香港、ソ連型の風邪が大流行。

竹の子族。各地で観測史以来の酷暑。

「なーんちやって」、「窓際族」



百きり式、四日コ奮闘し式並下勢闘有利
二日、大頭旗連五月六端了更坐指画依強



第49回メーデー



出射が

第三回民権闘争全国代表議事大会の前因す



1 9 7 9

二月、大阪地裁民事六部で更生計画が認可されたが、四月に就任した道下裁判官は会社清算を意図して異例ともいえる認可後の調査委員の派遣を行った。更には、翌年六月大阪地裁管轄下の全更生認可企業に対して「賃上げ、一時金の支給は、裁判所の同意を得よ」などの内容の通達を送付するという暴挙を行った。

春闘では、宿願であった同意約款を勝ち取った。夏闘、秋闘では、労災と通災の一本化、退職金の一本化と改善（勤続年数を三〇年から四〇年に延ばす）等の成果を挙げた。秋闘では、「所定内労働時間三〇分延長」について倒産下の権利確保に関わる問題として真剣に討議が行われ、一旦は臨時大会で否決されたが、組合が主体性を確保して実行することになった。冬一時金一〇万円。

矢賀製作支部が、自主生産の中で門枠加工を始め、生産面での連携を深めることになった。

地域では

第三回労働情報全国労働者集会の前段で、

田中機械破産突破集会が開催される。

破産管財人、権力、右翼一体の暴力強制執行が田中機械支部に対して行われる。

黒瀬工作支部に移転攻撃。

【政治経済】

第二次オイルショック。東京サミット。ホメイニ指導のもとにイラン革命勃発。スリールマイル島原発放射能漏れ事件。韓国で朴大統領暗殺。

【社会】

EC委員、「ウサギ小屋に住む働きバチ」と発言。

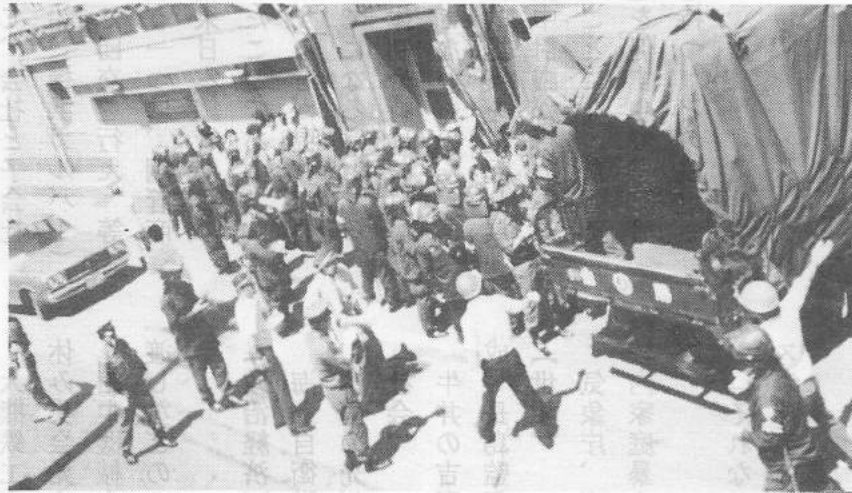
【世相】

インベーダーゲーム流行。
省エネ。夕暮れ族。

①
 申し立てのなかに5年目にして
 なまりは、この時、強制的に強制命令する
 強制執行のばさ夫志づまのこの出来事



第50回メーデー



田中機械支部に暴力強制執行

出たがお



団結バザー



団結権確保9-25労働者総決起

破産・倒産に反対し、団結闘争と云う各該支
 分会の得意に勝利するため、大衆闘争で内外
 反動権を根絶し、民事執行法新設、
 行政手続強化、政自法制定等を強化しな
 せてゆか

全金港合同、全港湾建設支部
 と団結権確保集会

1 9 8 0

地域連帯の力を実感できる二つの出来事があった。一つは、地労委勝利命令である申し立てから五年目にして、会社と子会社三社（知多工業、関東亜鉛、横浜ガルバー）に対して「一時金について団交を行え」等の内容を勝ち取った。もう一つは、鋼管商事闘争が勝利し、その結果日本鋼管からの発注の再開がもたらされたことである。

年明け早々職場を放棄する者が現れ、要員不足が肉体的限界点までになろうとする状況になった。この時の地域のアルバイト体制や特に矢賀製作支部の夜勤応援の決定も忘れることのできないものだ。

こうした中で、春闘では経費節約の具体的提案を提起し展望を示しながら、要員問題―欠勤問題の集中討議が行われた成果として、秋に大釜のガス化が実現することになった。そして、春闘、夏闘を通じて、管理職の奮起を促す中で、「管理職は企業運営の継続と前進のため責任を持つ」との協定も勝ち取った。冬一時金は、一〇万円。

地域では

大熊鉄工支部へのマンション建設反対の昼休み集会始まる。

田中機械支部に、破産管財人から工場明け渡しなどの「否認権」訴訟攻撃。

〔政治経済〕

海上自衛隊、リムパックに初参加。

韓国の光州で、労働者・市民が峰起。

〔社会〕

牛井の吉野屋倒産。張本勲三〇〇〇安打達成。

長島監督、辞任。王貞治、野村克也引退

〔世相〕

気象庁、東京地方で降水確率の予報を開始
校内家庭暴力急増。百恵フィーバー。竹の子族

「それなりに」、「ピッカピカ」、「カラスの勝手でしよう」



青年婦人部で「四季の唄」を合唱



『
 謝詞) 本間水村、菅原、土浦、武野、関の
 員会) (幹事委員、演説委員、庶務委員、
 正員代表、日コバ、リブ、海野、開、藤、小、妻

謝詞のり

1 9 8 1

五月から七月にかけて、「再建問題小委員会」（執行委員、職場委員、現場職制で構成）が開かれ、営業、生産、技術に関する問題点が研究、討議された。これが、ベースになって大釜集中化方針への結実、あるいは、田中垂鉛との技術交流が進んだ。一方、昭和五八年度返済計画に含まれていた王子社宅売却による更生担保権の大部分の処理を、種々の事情から二年早めて実行することになった。

春闘では、会社の経営努力を迫りながら（「生産の効率化」「安定受注、メッキ単価の引き上げ」等）、一方で二三項目の職場要求を掲げて、職場交渉を開催する等の取り組みも行われた。給食費の全額会社負担とさせたのもこの春闘で。冬一時金五万円。

地域では

協和金属支部、松尾鋼材として企業再建。

【政治経済】

元駐日大使ライシャワー、核搭載のアメリカ艦船が日本に寄港していると発言。

中国、四人組裁判で死刑判決。

【社会】

中国残留日本人孤児、初の正式来日。神戸で博覧会「ポルトピア八一」開幕。北炭夕張炭坑でガス突出事故、九三名死亡。

【世相】

宅急便急増。ノーパン喫茶流行。

「なめんなよ」



大阪総評争議組合共闘の主催の集会に1500人。田中機械と国鉄の闘争が合流。

1 9 8 2

年明け早々から、道下裁判官による再度の倒産、整理の恫喝が続いた。特に、三月に国税局が国税の共益債権の累積に対して法隆寺の社宅の公売を明らかにした時点で道下裁判官は「公売取消命令即清算か、企業再建するなら公売せよ」との二者択一を迫ってきた。この問題は、唯一の不動産が低価格によって取り上げられることになること、社宅居住者の移転問題、等があり慎重に対応を検討し、公売の延期、有利な売却、社宅居住者の立ち退き料の確保等の方針を取ることになった。

五月には、組合のイニシアティブで生産体制の「大釜集中化」を実行させた。メッキ業界の仕事量の全般的減少と三月～五月の賃金の欠配を契機にした職場離脱者の増大という現実を判断しての改革であった。

春闘では、完全ユニオンシヨップの要求を行い、同時に職員に組合加入の呼び掛けをしたが、その協定化については見送らざるをえなかった。経済要求については、一九八四年末まで、賃上げ、一時金ともゼロに近い状態が続いた。

地域では

新興刃物支部結成。

友電舎（此花 一名）、港合同に加盟。

ネグロス電工（二名）、港合同に加盟。

【政治経済】

「反核東京行動」に四〇万人参加。フォーランド紛争発生。中国、教科書の記述について批判（「侵略」を「進出」と歪曲すること、等）。アメリカ、三海峡封鎖とシーレーン防衛の役割分担を要請。

【社会】

東京ホテルニュージャパン火災、死者三三人。九州北西部に豪雨、死者二九九人。東北新幹線、上越新幹線開業。

【世相】

「逆噴射」、「なぜだ」、「ルンルン」



第53回メーデー（1982年5月1日）



中之島公会堂に1400人結集

1 9 8 3

大釜集中化体制が、少しづつ軌道に乗りはじめた矢先、6月に突如としてナガサト産業の倒産に関連して兵庫金属が和議倒産した。大阪亜鉛の最大の得意先であり特別の協力関係にあった兵庫金属の倒産は職場存続に関わる重要問題であった。会社の経営意欲を叱咤激励しながら、組合は労働金庫に協力要請をした。労働金庫は、これまでの組合の労金運動の実績を評価し、直ちに支援体制を決定した。

春闘では、一五才―一九才の初任給の引き上げ、初任給に達していない者の是正などを実施させた。冬闘では、杜宅公売に伴う一部労働債権の支払いを実行させた。

この年、市川誠総評顧問を団長とする「朝鮮統一支持運動活動家代表団」による安価な朝鮮産亜鉛の購入問題を巡っての努力があった。また、日本鋼管の発注停止の動きが表面化した。田中機械支部をはじめとする地域の支援で向こう一年間の発注継続を約束させた。

地域では

長谷川工務店のマンション建設強行に反対行動。

道下裁判官による全金額田製作支部への不当労働行為事件発生。

大阪共同鋼板支部に特別清算攻撃。

日産金属支部勝利解決。

関西アニマルケア支部結成。

【政治経済】

中曽根訪米、「日米は運命共同体」「日本は不沈空母」「四海峡封鎖」と問題発言。マニラ空港で、アキノ氏暗殺される。大韓航空機、ソ連軍機に撃墜される。田中角栄に懲役四年、追徴金五億円の実刑判決。

【社会】

横浜で、無抵抗の労働者襲撃事件発生。

【世相】

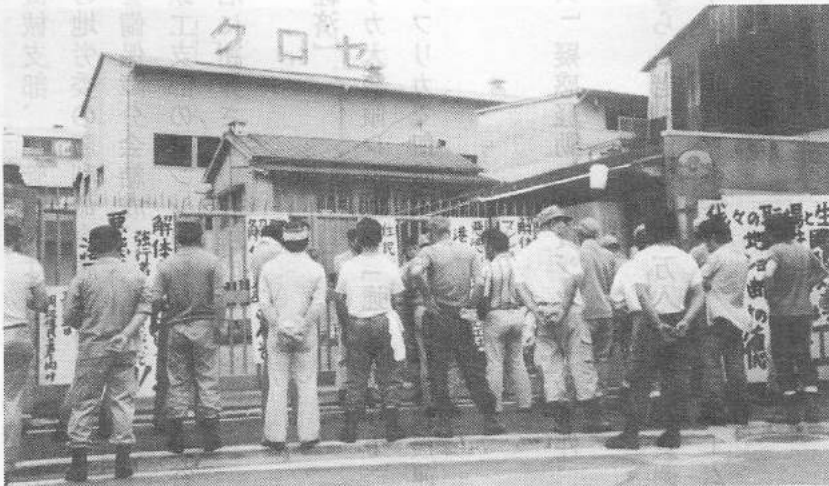
E・T大ヒット。「おしん」



藤田勇利海軍将校と労働者の闘い



第54回メーデー（1983年5月1日）



マンション建設反対の昼休み集会

1 9 8 4

額田製作所事件を契機に道下裁判官に対する糾弾、追放の闘いが盛り上がり、四月に大阪地裁民事六部からの転出となった。また、当初立てられた更生計画によれば更生手続き終結の年であり、終結を睨んで組合としての方針の検討を開始した。兵庫金属の悪影響を払拭しながら、企業経営の改善に「領域拡大」の闘いの一環として全力を上げた一年間であった。

春闘では、道下裁判官追放の好影響として、賃上げ分の基本給繰入れを実現できた。企業の効果的運営についての要求を提起したが、会社は夏の段階で「執行部と部長との定期協議会」を提起するのみで進展がなかった。秋闘では、定期大会方針を踏まえ、再建プランの提示を迫ると共に、健康問題、青年婦人の定着問題などの要求を掲げた胸部レントゲンの間接撮影を直接への切り替え、結婚休暇七日間、出産休暇一六週間、資格取得の保障の獲得はこの時。

地域では

田中機械支部、「管財人は団交応諾義務あり」との地労委の勝利命令勝ち取る。

関西警備保障分会結成。

大熊鉄工支部のマンション反対闘争、長谷川工務店に謝罪させ、和解成立する。

【政治経済】

アメリカ大統領レーガン「強いアメリカ」強調。アフリカで飢餓深刻化、世界で救援運動。

【社会】

「ロス」疑惑騒動。投資ジャーナル事件。

【世相】

一人暮らし老人一〇〇万人突破。写真週刊誌ブーム。エリマキトカゲ、コアラブーム。ピーターパン症候群。

「ちやっぷい」



半(湖内出池)の煩ひ跡を、整平の跡
 このころのさかことな事をいひおる。また
 門外派工の仕事を大廻並流湖内の中
 大きな出来事として、大賞與科支給の
 こと評回答を記さる。五月五日
 第55回メーデー
 (1984年5月1日)

田中製鉄
 米の生産と湖畔の向土
 東半手跡の跡跡
 五期大会の海式が再登



6月反安保のデモ



箕面ハイキング

1 9 8 5

一〇月の第二八回定期大会で新たな再建闘争の方針を確立した。更生手続きの終結を延期すること、将来の生活と権利の向上のために共益債権の縮小を図ること、企業体制の整備、等の内容である。

春闘では、二月に受注、原材料費の低減

営業経費の低減、等の申し入れを行った。

賃上げはなかったが、過渡的措置として調

整手当の新設、家族手当の増額（二千円引き上げ）を勝ち取った。秋闘では、九月に

春の申し入れを引き次いで、更生手続き終結問題、共益債権の対処、金融機関との取り引き、管理体制、労働債権の確保等の申し入れを行った。そして、要求では、昨年に引き次いで健康問題に力を入れ、松浦診療所を健診機関にするなどの成果を上げた。一時金については、少額ではあるが二年ぶりに有額回答を勝ち取った（夏五万円、冬一〇万円）。

大きな出来事として、矢賀製作支部の仲間が争議終結後も門枠加工の仕事を大阪亜鉛構内に移し同じ釜のメシを食うことになったことが挙げられる。また、中村氏の労災認定闘争（脳内出血）に取り組み、翌年に認定を勝ち取った。

地域では

田中機械破産管財人宮崎宅正月デモが始まる。

矢賀製作支部、三三九六日の工場占拠、自主生産闘争の勝利解決。

西島製作所分会結成。奈良工場移転攻撃。

【政治経済】

男女雇用均等法可決。国家秘密法案、国会に上程されるが、反対運動の前に廃案。コロンビアの火山噴火、アルメロの町消え、二万五〇〇〇人死亡。

【社会】

AIDSの恐怖、世界に広がる。豊田商事事件、社長刺殺される。羽田発の日航ジャンボ機、御巢鷹山に墜落。プロ野球選手の労働組合、東京地労委で正式に認定される。



田中機械破産管財人宮崎宅への正月アモ始まる



第56回メーデー（1985年5月1日）

1 9 8 6

最大の出来事は、職員の組合加入を果たしたことである。「工員」と「職員」の長年の分断をはねのけて団結の第一歩を勝ち取ったことである。

企業実績は昨年、倒産後初めて黒字に転換し更に企業の体力強化への取り組みが求められている中で、兵庫金属ほどではないが得意先の倒産が続きダメージを受けた。

この中で、春闘では「企業の安定性と魅力を高める具体策を示せ」と迫った。成果としては、調整手当の上積み、深夜出勤手当の新設、退職金の保全率三五%、等であった。秋闘では、七月に設置されたTQC委員会の内容公開、会社の対外調査力の強化、要員補充、等を要求した。要員補充については、定着のための教育定員制の大枠を確認させた。完全ユニオンショップの協定化も勝ち取った。冬一時金一三万、配分方法は一律四〇%給比六〇%で初めて行う。

自己都合退職者の退職積み立て金の凍結解除が実行され、また健康問題は松浦診療所が健診機関となる事で大きく前進した。

地域では

新興刃物支部に、賃上げ低額固執、夏一時金ゼロの兵ろう攻め、組織破壊攻撃。

石川島播磨重工分会結成。配転、解雇攻撃
吾妻金属分会、伊藤金属分会、ユニバーサル・ランプ分会、ユニオン接点工業分会、双和運送分会結成。

【政治経済】

フィリピン、アキノ政権発足。東京サミット開く。ソ連、チェルノブイリ原子炉事故発生。国鉄、二万人の首きりを開始。アメリカのSDI研究参加決定。

【社会】

茨城の百里基地でF一五戦闘機サイドワインダー暴発。

【世相】

伊豆大島で一二年ぶりに噴火。
「新人類」

仁川のハイキングは、夏の間、毎月1回、仁川ハイキング会主催で行われる。参加者は、ハイキングの楽しさを味わうだけでなく、自然の恵みを感じ、健康増進を図る。また、ハイキングを通じて、仲間づくりや交流の場としても、大変好評である。



仁川ハイキング



大阪府の労働運動は、戦後、大きく発展した。特に、金属労連の活動は、全国的に知られている。この大会は、大阪府の労働運動の現状と今後の展望について、関係者から意見を交換する重要な機会となった。



1 9 8 7

更生手続き終結を二年延期させてきたがいよいよ具体的な日程にのぼる段階に至った。終結後に予想される共益債権者（国税局、社会保険事務所、労働基準監督署、区役所、等）の再建妨害に備えて様々な手立てを取りながら、一方で、大阪地裁民事六部に対して「終結延期」の団交の申し入れを宮島尚学習院大学教授の意見書を添えて行った。

春闘では、一九八四年以降の「再建プラン」 「企業体制の安定化」 に関わる未解決事項の整理をし、二月に申し入れをし、更に要求として掲げた。夏闘では、退職金の保全四〇%等の成果を上げた。夏一時金一三万円。

TQC委員会が皆の生活と権利の向上に向けて活発に機能することを求めながら、組合として独自に再建問題小委員会を再スタートさせ、クレーム問題、釜替問題、新人の教育問題、等を中心に論議を深めた。

松浦診療所による成人病検診が始まり、健康問題は一層前進した。

地域では

三和電器の野田さんの解雇撤回闘争勝利解決。

谷本鉄鋼分会、ダイカン支部、ONAA分会結成。

田中機械支部、地労委で「破産、解雇は不当労働行為である」との地労委命令勝ち取る

【政治経済】

韓国で、民主化闘争高揚し、争議も頻発。

嘉手納基地包囲人間の鎖行動が行われ、参加数二三〇〇〇人。

【社会】

イギリスのアニメ「風が吹くとき」ヒット
国鉄の分割、民営化―JR発足。ココム事件発生。朝日新聞社襲撃事件発生。

久保 勝彦 (メッキ班)

☆☆☆☆

私には残念なことが春一番に発生した。桜もチラホラ四月月上旬、夜勤の疲れをいやすため、稻荷神社の池の鯉にパンをなげる、囲いごしにそと池を覗くとパンがそこに散っている。水がない。そんな、バカな。鯉も……。唯ただ呆然とするばかりでした。

池の鯉には数々の思い出があります。特に六三春闘の頃鯉には弁当をわけてやったし、六〇センチは十分にある鯉を先頭に各種の鯉がゆつくりと列をつくって回遊していたものだ。更生法下になり、各種の大きな鯉はどこに引き取られたのか、姿を消したが、形は小さく細長い鯉はそのままだった。足音を聞けば岩の下に隠れてなかなか出て来くれなかった。一〇年一昔、昔人の諺があるが、会社も長い長い、暗いトンネルからやっと薄明が見える様になりつつある今日この頃、誰がくれたか鯉が泳ぐようになり、「春がくる、もう少しで春がくるぞ」と胸踊らせたその矢先、鯉が姿を消した。残念なことだ。



10回目を迎えた交流秋祭り



第3回新人研修会（1987年6月6日）



国労、全港湾の呼び掛けの集会に3100人

〇 労働組合の発展と活動の歴史

にむすむ

組合結成三〇年を経て、我々を取り巻く状況も一変した。

生活権利闘争、反合職場闘争、反戦平和の闘い、そして地域闘争などを担い抜き、戦後労働運動の中心であった総評も今年の全国大会で一九九〇年の組織解散を決定した。そして、全金自身もこの一月に発足する「全国民間労組連合」への加盟を決定し、一層の右転落の道を選択した。

権利が軽視され、闘いを放棄することが当然であるかのような風潮の中で、当たり前のことを主張できる運動、団結権を基本においた運動、官民の連帯運動の大切さはいうまでもない。

そして、我々組合員の願いは「一日も早い職場再建」である。

そのために我々のなすべきことは何か。第三〇回定期大会（一九八七年一〇月三日）で決議された運動方針（一部）をお互いに想起すべきであろう。

『職場における団結権の確保、維持向上は、すべての闘

いの基礎である。

組合結成三〇年の歴史の中で、職場の団結が弱まったり、幹部が右傾化すれば必ず敵の攻撃が強まり、労働者の権利が奪い去られる事は、事実をもって経験してきたところである。団結の強化とは、言葉や文章上の問題でなく日常の運動や労働を通じて労働者同士がお互いに心を通じあい、助け合うこと。幹部や活動家は、常に組合員の立場や境遇を把握し、適切な世話役活動や指導ができる体制を持ち、それを日常実行することから労働者同士、幹部、活動家と一般組合員の信頼関係が作られるところから出発しなければならない。

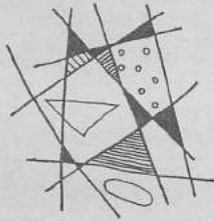
その信頼を基礎に、日常職場に結集し、労働運動の砦が築かれるのである。

現在の資本主義体制における労資関係は、単に一企業の中だけの力関係によって左右されるものでない。

資本家と、資本主義体制の擁護を目的とする政府や自民党そして、これらの意を受けた右翼的上層労働幹部は、常に闘う労働者、階級的労働運動の破壊を狙っているのであり、その現象として表れているのが、この数年間継続して加えられている労働諸法の大改悪であり、全国的に広まっている大量の首きり、失業者の増大、福祉の大幅切り捨て等である。

Ⅲ

全
員
登
場



素材



井元 昔◆病気やケガのないように体にきをつけて皆で元氣

でガンバロー

上川畑広美◆よくこまでもったと思う。これからも四〇年

五〇年とつづくよう頑張ろう

瀬戸口道雄◆組合員の皆さん毎日御苦労さんです。組合結成

三〇周年おめでとう。これからも再建のため頑

張ろう

大島 貢◆最後まで頑張ろう

番匠興志光◆最後まで頑張ろう

盛里安明◆再建めざして共にガンバロー

水揚げ・ホイスト



小川純生◆ハードな仕事に、緊張感と充実感を覚える。経営全般に、労働者自身の組織的な解決能力を強めていきたい

伊藤 昇◆三〇周年おめでとう。みんなで元気にがんばろう
秋田 峻◆元気に毎日楽しく働こう。

宮脇清吉◆六三春闘、更生法と色々なことがあったが、長かったようであらぬ間に三〇年が過ぎてしまった。

野見山忠生◆三〇周年にあたり今後も再建にがんばろう
深津和男◆ガンバロー

釜
（一）



藤井春喜◆三〇周年記念おめでとう。今後も元気で頑張りますよう。

中村幹生◆共がんばろう

平松周平◆八七年度、更生法終結に向けて職場再建に勝利しよう

山本樽豊◆組合結成三〇年おめでとう。私も入社三〇年、組合と共がんばろう

後藤首市◆振り返ってみれば、よくぞ、更生法との闘いに勝

利するまでに至ったことは、みんなの団結及び地域共闘があったればこそである。三〇周年を機に初心にかえり、みんなの団結で完全勝利に向かって前進しようではないか

石中健司◆いつも新しい気持ちでガンバロー人のまじりこえよう



乾燥台 (一)



上川畑喜助◆ともに頑張ろう

太田洋三◆何時でも、労働者の味方たり得、決して裏切らな

い組合としてガンバリ続けよう

有川光男◆元気に頑張ります

川瀬恵吾◆元気に毎日楽しく働こう

前川康則◆ガンバロウ

村上寿一◆入社以来早くも三二年、四十路半過ぎ、現在の心

境は中国の故事でみずからを捨て人のために尽く

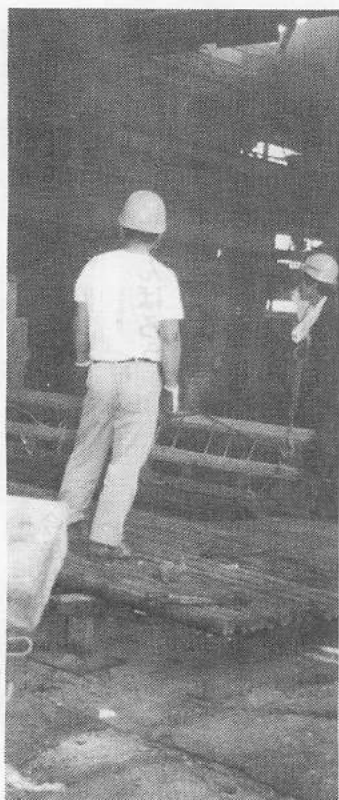
す意味の諺にあります、**「不自惜身命」**の精神

で職場のため、人のために尽くそうと決意してい

ます

船本隆春◆ボチボチではあるが頑張っていけます

川中孝行◆健康第一で。元気いっぱいがんばろう



洗淨・フラックス（一）



上野精二◆ともががんばろう

寺岡 清◆光陰矢の如し、入社以来二八年、様々な思いが脳裏をとびかうが、とりわけ更生法下の闘いが更に前進することを望む

滝根次雄◆倒産後、我々は再建に向かってきた。今後も協力し生活上のため頑張りたい

池端茂◆今年一月の組合式典は労働組合全員で楽しく行いたい
たく思います

綾野之治◆地域共闘の重要性を考えると、良い時も悪い日も、あの日・この時の思い出残しながら、今日がある。支部組合員一人一人が、希望と喜びをもって魅力ある職場を自分達で作りたい

山崎一毅◆心一つにしてガンバろう



水揚げ・ホイスト (二)



長谷尾義材◆祝三〇周年。おめでとうございます

山崎政美◆組合員になってまだ日があさいので何も分かりま

せんが、色々の行事になるべく参加して早くとけ

こみたいです

堂之下勉◆明日への飛躍をしよう

渡辺成一◆再建闘争を勝ち取るまでガンバロー

草川 清◆ガンバロー

村井紀善◆三〇周年記念おめでとう。健康に注意し、共に頑

張ろう

ある。支那組合員一人一人が、各層と連携して

ま、まの日。この朝也星の出表しを、今日

釜

(二)



藤村利政◆三〇周年おめでとうございます。これからも自分

達の生活向上のために頑張ろう

日生武人◆三〇周年を迎え誇りに思っています。振り返りますと

色々な闘争を体験し、身につきました。今後自信をもつて、組合の発展のために頑張ります

寺下 勲◆最後の勝利まで団結でガンバロー

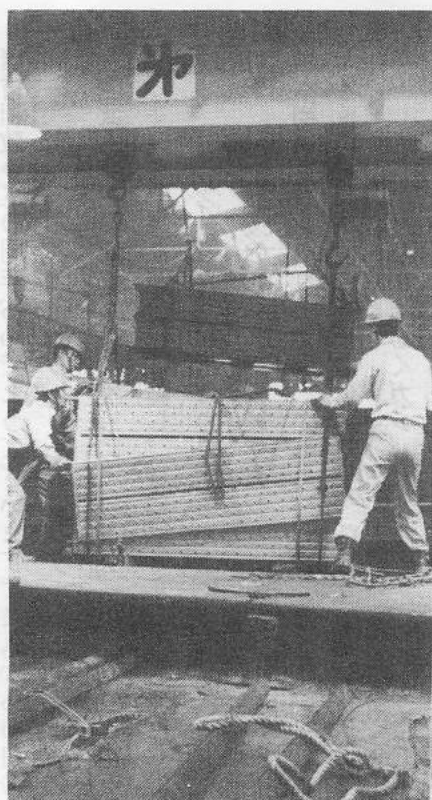
岩本初義◆ガンバロー

竹之下貞男◆入社三二年、不言実行、やるっきゃない、今後

ともよろしくガンバロー

百瀬 彰◆仲間を大切に、敵には厳しく

乾燥台 (二)



平松敏彦◆仕事をせず寝て暮らしたいけど、そうもいかな
いので、それなりに頑張ります

松本敏幸◆ガンバロー

日生 登◆再建闘争頑張ろう

宜野座洋◆ダンケツ ガンバロー

大塚希文◆健康に注意し、怪我をしない、人にさせないよう

にをモットーにし頑張ります

奥山晴彦◆ホンモノだけが生き残る

洗滌・フラックス(二)



久保勝彦◆組合三〇周年、お目出度の。国鉄民営化、円ドル

一四〇円台、めまぐるしい変化の中で組合結成三〇周年、私も心より祝い喜びあいたい。酒量も多くなり、老い共になったが、みんなで頑張っている。頑張ってほしい。

大川慶二◆何事にも一致団結の精神。共に頑張ろう

堀山信光◆がんばろう

有村光夫◆組合結成三〇周年おめでとうございます。団結で

がんばろう

高島 讓◆組合結成三〇周年おめでとう。残業で生活を支えているのだが、賃上げ、一時金を一般並に勝ち取

るまで頑張ろう

岡村英雄◆ガンバろう



活本雑誌 ◆三〇周年おめでとうのあかし、今更に「岡村英雄」

仕上げ一工場



浜本義雄◆三〇周年おめでとうございます。今後一層団結し

ガンバロー

長野節子◆組合結成三〇年おめでとうございます。組合の発展を祈ります

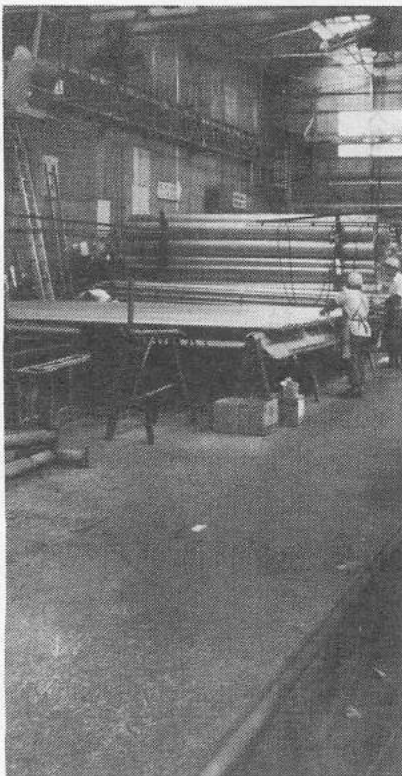
中江時安◆ガンバロー

宿利 守◆一致団結して共がんばろう

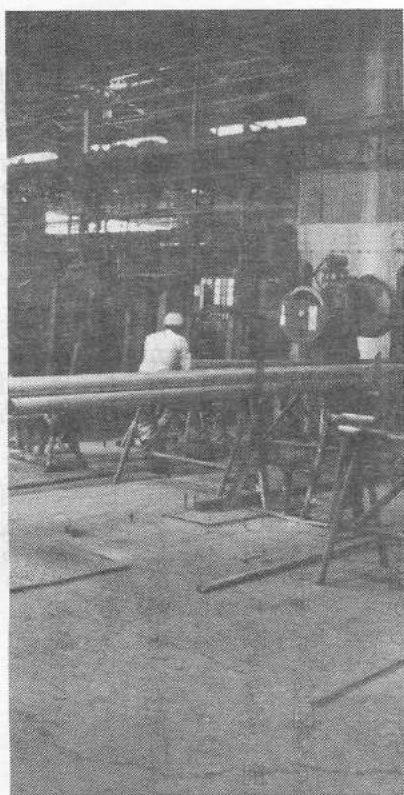
中野正一郎◆組合結成三〇周年を迎えて、新たな気持ちでが

んばりましょう

戸田八郎◆元気に頑張る決意です



つるまき、仕上げ一組、金多一組、並一組、組
員、組合結成三〇周年おめでとうござい、表裏つれなき支え
隊、いんこ



蛭子 茂◆皆様と一緒に闘争を強め共にガンバリましょう。

蛭子繁夫◆全員団結ともに頑張りましょう

大野武夫◆思い出残る楽しい行事にしよう

山下 近◆楽しい行事にしよう

金子歳勝◆三〇周年記念を迎え心から感謝します。今後も共

に頑張りましょう

金子照夫◆組合員の皆様のおかげで入社二七年頑張りました

ありがとうございます

安村文伸◆三〇周年おめでとうございます。入社して間もな

い僕ですが、宜しく願います

「三〇周年を乗り切るための闘争を強めよう」

仕上げ三工場



村井幸吉◆皆さんと共に団結して頑張ろう

上島儀男◆全金大阪亜鉛支部結成三〇周年おめでとう。一人

一人の自覚のもと団結して頑張ろう

渕上和政◆労働者は体が資本、病気をしないよう気を付けて

再建闘争勝利するまでガンバロー

松本ヒデ子◆勤続三〇年、日給一六〇円から働き今に。創立

三〇周年おめでとうございます。一致団結で更

生法脱出に向けて頑張ろう

山岡金衛◆組合結成三〇周年、会社更生法から一二年が経過

した。節目を乗り切るためには団結以外にない。

共に頑張ろう



クレイン



田中樽治郎◆思い出深い三〇年、これまでの経験を生かし共に頑張らしましょう。

岡久幸彦◆三〇周年お祝い申し上げます。ここにくるまで、いや現在も闘い、なお一層団結を強め、地域との連帯の向上・前進のため頑張ろう。

渡 行長◆祝三〇周年記念。苦難の連続で本当に御苦労さんでした。今後も再建闘争に頑張ってください。

牧田恭男◆三〇周年を祝い、更に我々の生活向上を目指し頑張ろう

田畑 繁◆入社以来、組織の一員と自覚し、労働者として様々な運動を体験いたしました。今後経験を生かし頑張りたいと思います。

塩山 勝◆三〇周年を迎え、心新たにガンバロー。またアゲル橋井美信◆三〇年間の闘いの歴史を振り返り、先輩のよき伝統を引き継ぎ、新たな年輪を築いていこう。

末永 健一◆三〇周年お祝い申し上げます。ここにくるまで、いや現在も闘い、なお一層団結を強め、地域との連帯の向上・前進のため頑張ろう。

仕上げ四工場



足立貞雄◆団結して頑張ります。ヨロシク

井元麻雄◆省力化、イメージ活性化を、大阪垂鉛流でもう少し声高く行こう

末永勘一◆私も若かった結成当時は今は懐かしく昨日のように思い出します。今後も共に頑張りましょう

盛 哲志◆三〇周年おめでとう。あと三年で定年になります

が最後まで共に頑張りたいと思います。

嶽 圀成桶◆過去三〇年にわたる組合員の団結によって成し

遂げたものです。今後共に団結を。



仕上げ五工場



中江秋正 ◆ 組合結成三〇周年おめでとう。団結して頑張ろう
竹本武士 ◆ 組合結成三〇周年おめでとう、これも組合幹部の

御指導の賜物と思います。幾度の荒波を乗り越え
よくここまでできたことだとおもいます。今後とも
頑張つて組合の発展を祈ります

広田 甫 ◆ 組合創立三〇年おめでとうございます。新しい人
古い人、共に仲良く頑張りましょう

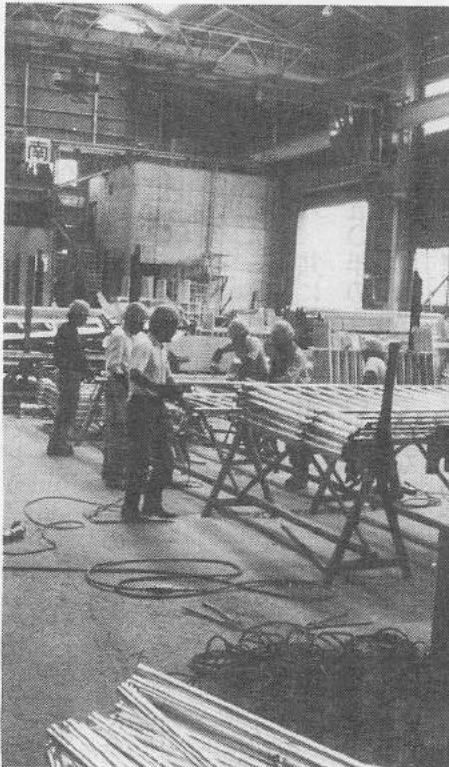
高野文夫 ◆ 人生五〇年のうち三〇年をこの組織と共に歩ん
てきた。それは私だけではなく、多くの人が大阪垂
鉛支部の歴史を創ってきたのであり、血と汗の結
晶をいつまでも我々の団結で守り育てていこう

蛭子 務 ◆ 組合結成三〇周年おめでとうございます。共に再
建闘争頑張らしましょう

大山正章 ◆ 輝ける三〇周年の伝統を誇り、更に前進するた
めに共に頑張ろう

今田 健 ◆ 御挨拶お疲れさうございませう。組合の発展に
貢献します。よろしくお願いいたします。

夜勤グループ (一)



寺岡広典◆老骨にムチ打って頑張ります

今田 博◆労働者は団結をしなければ生活向上はあり得ない

港地域一体となってガンバロー

真田春雄◆労働者は団結のみ、ガンバロー

三宅敏春◆三〇周年を楽しく盛上げ、団結ガンバロー

永吉澄夫◆赤い鉢巻き頭に巻いて、手に持つ数々の要求。理

想は高し全員一致でガンバロー、ガンバロー

組まひこまひまはたの団結でやり直さばいい

検査・電気・ポイラー



別府明治◆地域共闘のおかげで、三〇周年記念行事もやっと
できるようになったことを嬉しく思います

久木田欣三◆年月のたつのは早いもの、組合が結成されても
う三〇年、その中には、倒産もありましたが、

山手龍子◆これからも全員で頑張ろうと決意して、

濱野隆規◆吾唯而知足、

石塚朋子◆三〇周年おめでとうございます。まだまだ、わか

断田八重子◆知らないことばかりですが、頑張りたいとおもいま

山崎幸子◆すいおひま

岡本一博◆一〇年一剣を磨く。我々は必ず勝利する

楠本一◆入社して二七年になる。その間色々な事があった

藤田典子◆六三春闘の闘争等、二七年間病気にせず働けた事が

何よりです。

松山政弘◆再建闘争勝利の日まで、一人の脱落者のないよう

共に頑張ろうませ

本多美太郎◆首領の闘争こそ三〇周年を度々の

丁

財谷 隆◆この日は、組合員一人一人の力での組合であり

り、

断田 英◆人間科香ふの業であり、

総務・守衛・経理



池田彦示◆人間は考える葦であり、ヒユアな精神は人生をよ

り充実する。ともあれ雑草の如く頑張ろう

横谷 悟◆これからも、組合員一人一人のための組合であつ

てください

本多鹿太郎◆皆様の団結により三〇周年を迎えられたことを

喜んでおります

下野津元子◆何も分かれぬままに、楽しい思いをさせていた

だきました。これからの勉強です

藤田典子◆信頼できる人間関係づくりを目指していきたい

西岡清男◆皆様の団結により三〇周年を迎えられましたこと

を喜んでおります

山崎幸江◆がんばりましょう

池田八重子◆看護婦池田八重子です。三〇周年おめでとう！

三月一日より組合員として頑張ります。集会には

救急箱と共に参加、よろしくネ

山下静子◆入社三二年、これからも頑張りますのでヨロシク

八木田淑三◆三月三日の集まりも早くも、集合の時刻が近づいて

います。皆様も早く集合の時刻が近づいて、集合の時刻が近づいて

業務



村上勇次郎◆三〇周年を迎えおめでとうございます。今後尚

一層努力して再建に頑張ろう

井坂 保◆総力を結集して更に頑張っていきましょう。

穴沢和恵◆ただクルクル回されるだけの歯車は、いやだよー

北島 実◆組合結成三〇周年おめでとう。初心に返り新しく

前進しましょう。

山下克巳◆組合結成三〇周年おめでとう。今後ますます団結

して頑張ろう。

中村光広◆辛抱と我慢の三〇年だったと思いますが、これか

八木コジ◆らも共に頑張りましたよー

川崎 晃◆再建がんばろう みんなの手で

妹新謙◆皆さぶと仲良くなるとは思いますが、組合苦難コジ

もて

安田一博◆出来ぬは苦い事でもやるべし、頑張ろう

大西 茂◆支那結成三〇周年おめでとう。全世界の後援者感謝

ひまじまて

宮本一彦◆歯車も、押さぬ歯車もあるよー

赤野まさこ◆共闘頑張る

山田泰三郎◆三〇年共闘おめでとう、一丁上がり明日に向けて

製造・営業・資材



山田泰三郎◆三〇年共に流した汗が、一つになり明日に向け

希望をもって共に頑張ろう

宮本一江◆働き易く、明るい職場であるようにみんなで頑張

りましょう

大西 巧◆支部結成三〇周年万歳 全世界の労働者と団結し

労働者階級の解放に向けて前進しよう

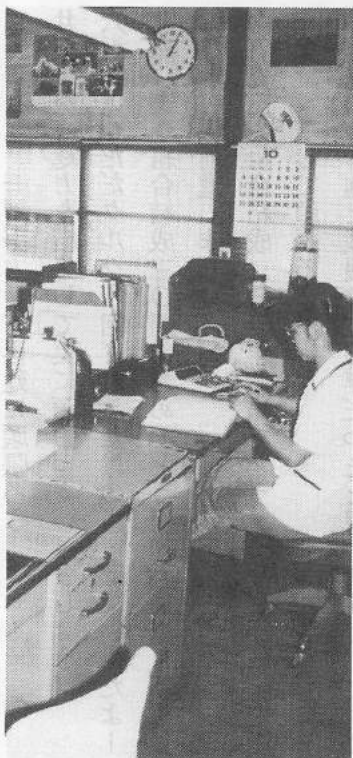
安田一明◆仕事に出るのが苦にならない明るい職場にしまし

よう

杉浦雅子◆皆さんと仲良くが私の気持ちです。組合活動にし

ても人の和が大切です

八木仁紀子◆みんなで仲良くルンルン気分でガンバロー



社員のみなさん、三〇周年を記念して、このように頑張っています。今後は

電気・ボイラー



片尾 宏 ◆ コルニツシュ、MP五〇三、KS一〇〇〇、MP

七〇三、MP八〇三、GMHE一五〇〇、ボイラ

ーと共に三〇年

海辺正敏 ◆ 団結でがんばろう

岡田 勇 ◆ 記念すべき年が私には一年目、今後とも宜しく願

います

酒井敏美 ◆ 再建に向かってより一層の努力をしよう

吉田耕治 ◆ 組合結成三〇年を振り返り、この教訓をもとに、

再建闘争の一層の強化をはかり自らの職場は、自

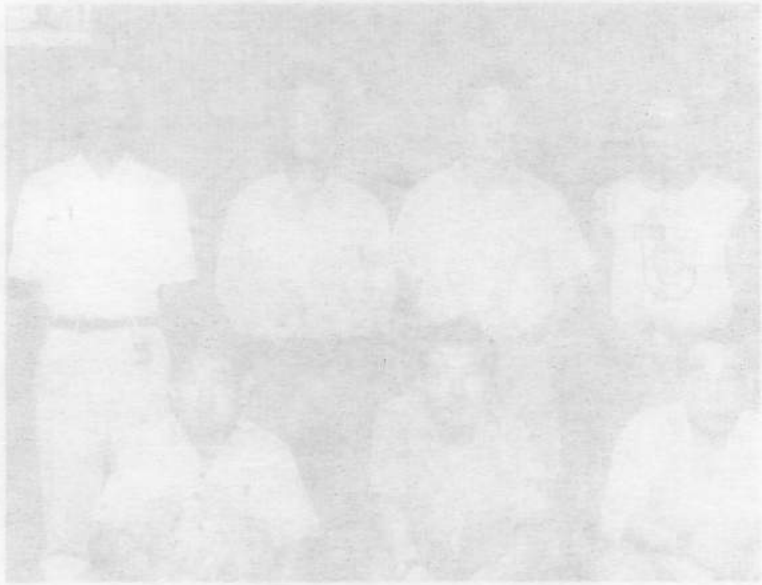
らの力で守り抜こう

森 一正 ◆ 三〇年を全員で盛り上げよう

植松智寿 ◆ 秋祭り、ソフトボール…また頑張るぞ



電燈。ホトデー



梅共輝美◆ホトデー、スリムホーワ...ホトデーの歌

森 一五◆三〇ホトデーの歌の十人です

ホトデーの歌の十人

梅共輝美の一面の歌がさばり自らの歌は、白

古田輝美◆梅共輝美三〇ホトデーの歌、この歌謡をわが国

梅共輝美◆再興に向ってより一面の歌はホトデー

この歌

藤田 康◆ホトデーの歌は一面、全歌メロディの

藤田 康◆梅共輝美の歌

一五共三〇ホ

ホトデー、M.T.H.O.S.、O.M.H.E.、元〇〇、ホトデー

丸山 康◆ホトデーの歌、M.T.H.O.S.、元〇〇、M.T.

IV

■組合結成三〇周年記念■

組合功勞者表彰



支部の闘いに日常的に

功労のあつた組織

総評全金港合同

功労のあつた組合員

◆表彰基準 一五期以上支部役員、再建闘争
中七期以上支部役員のいづれかに該当す
る者

橋井美信 五期と六期執行委員、七期職場委員長

八期副委員長、九期から三〇期委員長

高野文夫 一期執行委員、四期と五期職場委員長

八期から一二期執行委員、一五期から二二期

執行委員、二三期から三〇期副委員長

濱野隆規 五期職場委員、八期と九期執行委員

一二期から一九期執行委員、二〇期と二二期

顧問、二二期から三〇期執行委員

山岡金衛 一七期から一九期職場委員、二〇期と二

一期執行委員、二二期職場委員、二三期から三

〇期執行委員

綾野之治 五期職場委員、七期と八期職場委員

九期執行委員、一〇期から一五期副委員長

一六期から一九期執行委員、二〇期から二二期

副委員長

久木田欣三 二期と三期執行委員、一〇期と一二期

執行委員、一三期と一四期執行委員、二二期か

ら三〇期会計監査

村上寿一 七期職場委員、一二期職場委員長、一三

期から一五期執行委員、一六期から二五期書記

長

北島実 九期から一二期職場委員、一二期会計監査

一四期会計監査、二二期から二七期職場委員、

二八期と二九期会計監査

百瀬彰 二三期職場委員、二四期と二五期職場委員

長、二六期から三〇期書記長

田畑繁 五期職場委員、一〇期職場委員、一七期か

ら二二期職場委員、二三期と二四期職場委員
太田洋三 二四期と二五期職場委員、二六期と二

七期職場委員長、二八期から三〇期執行委員
平松敏彦 二四期から二七期職場委員、二八期と

二九期職場委員長、三〇期職場委員

八期職場委員、一六期から三〇期委員

謝井美壽 五期と六期執行委員、十期職場委員

る者

中十期以上支店委員のハナハナコト出

◆奨励基準 一五期以上支店委員、再登壇年

支店のあつた組合員

無期全金組合員

支店のあつた職

支店のあつた日常出

田中 五期職場委員、一〇期職場委員、一七期

委員、二六期から三〇期委員

百藤 二三期職場委員、二四期から二五期職場委員

二八期と二九期職場委員

一四期全金組合員、二二期から二九期職場委員

北島実 六期から一四期職場委員、一二期全金組合

員

一六期から一七期職場委員、一六期から二五期

村土英 一七期職場委員、二二期職場委員、二三

と二〇期全金組合員

一三期職場委員、一三期から一四期職場委員、二二期

八木田三 二期と三期職場委員、一〇期と一一期

職委員

一六期から一七期職場委員、二〇期から二二期

大岡 六期職場委員、二〇期から二五期職場委員

藤原 五期職場委員、一四期から一八期職場委員

〇期職場委員

一四期職場委員、二二期職場委員、二三期から三

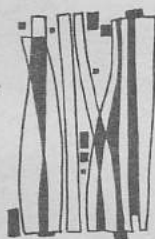
山岡金蔵 一七期から一八期職場委員、二〇期から二

三〇期職場委員

V

■組合結成三〇周年記念■

文体行事優勝者表彰



ボーリング

◆ 一九八七年三月一五日 福山ボール

○ 参加者 二三名

日生登、村井紀善、山崎政美、藤村利政、瀬戸口道雄、井元昔、橋井美信、今田博、松本ヒデ子、牧田恭男、寺岡広典、山岡金衛、海辺正敏、久木田欣三、濱野隆規、八木仁紀子、石塚朋子、藤田典子、下野津元子、稲継征朝、大西巧、百瀬彰、高野文夫、

○ 優勝者 村井紀善、八木仁紀子、

釣り

◆ 一九八七年七月一七日 岸和田赤灯

○ 参加者 二三名

後藤音市、太田洋三、平松敏彦、平松周平、久保勝彦、上川畑喜助、藤井春喜、村上寿一、酒井敏美、大西巧

川崎晃、村上勇次郎、井坂保、濱野隆規、深津和男、前川康則、中村幹生、有川光男、藤野勝彦、井元麻雄、大坪健一、山下克巳、

○ 優勝者 上川畑喜助

卓球

◆ 一九八七年九月五日 食堂

○ 参加者 一三人

百瀬彰、寺岡広典、岡本一博、綾野之治、濱野隆規、山田泰三郎、久木田欣三、森一正、杉浦雅子、穴沢和恵、八木仁紀子、石中健司、

○ 優勝者 寺岡広典、杉浦雅子、

バトミントン

◆一九八七年九月五日 仕上五工場

○ 参加者 二一名

竹之下貞男、松山政弘、岡田勇、森一正、足立真雄、

吉田耕治、宮本一江、杉浦雅子、山田泰三郎、

古田保、高瀬賢一、

○ 優勝者 吉田耕治、宮本一江

将棋

◆一九八七年九月五日 食堂

○ 参加者 一九名

綾野之治、高野文夫、久木田欣三、石中健司、

有川光男、淵上和政、山下近、池田彦示、楠本一、

上野精二、小川純生、村井紀善、末永勘一、足立真雄

北島実、塩山勝、番匠興志光、太田洋三、杉本勝

○ 優勝 末永勘一

囲碁

◆一九八七年九月五日 資材倉庫二階

○ 参加者 九名

大島貢、池田彦示、川瀬恵吾、淵上和政、片尾宏、

小川純生、綾野之治、広田甫、渡行長、

○ 優勝者 綾野之治

卓球

◆一九八七年八月五日 食堂

○ 参加者 一九名

大野新一、山下敬日

池田勇、中村博志、青川次郎、藤田誠志、井上誠

川崎英、村上英次、北原栄、高橋誠、栗原時典



ボ
ー
リ
ン
グ
大
会

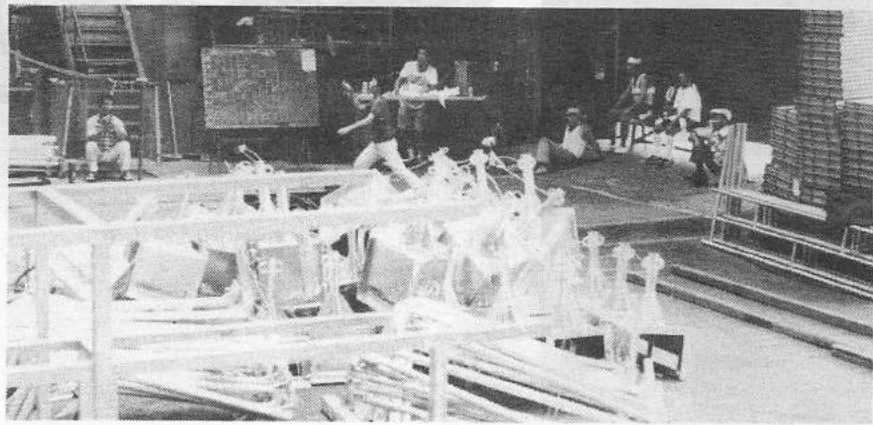
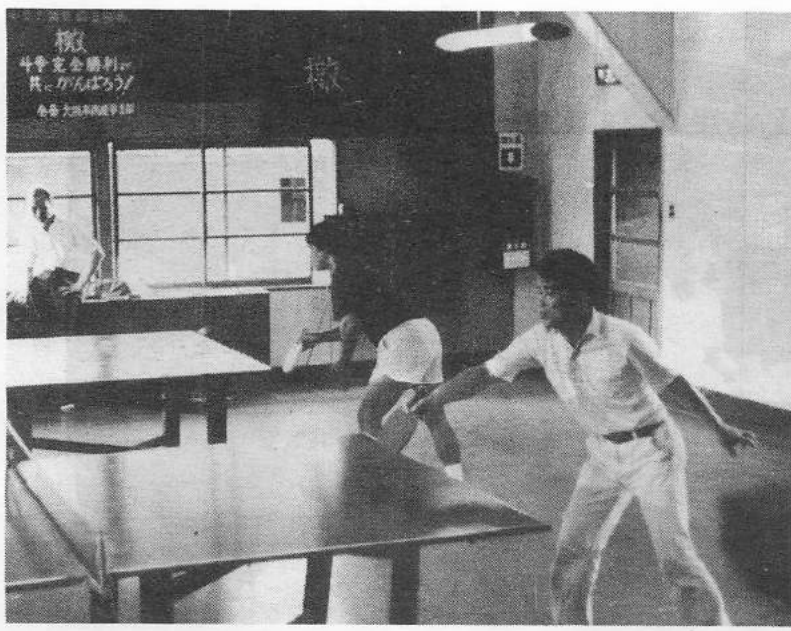




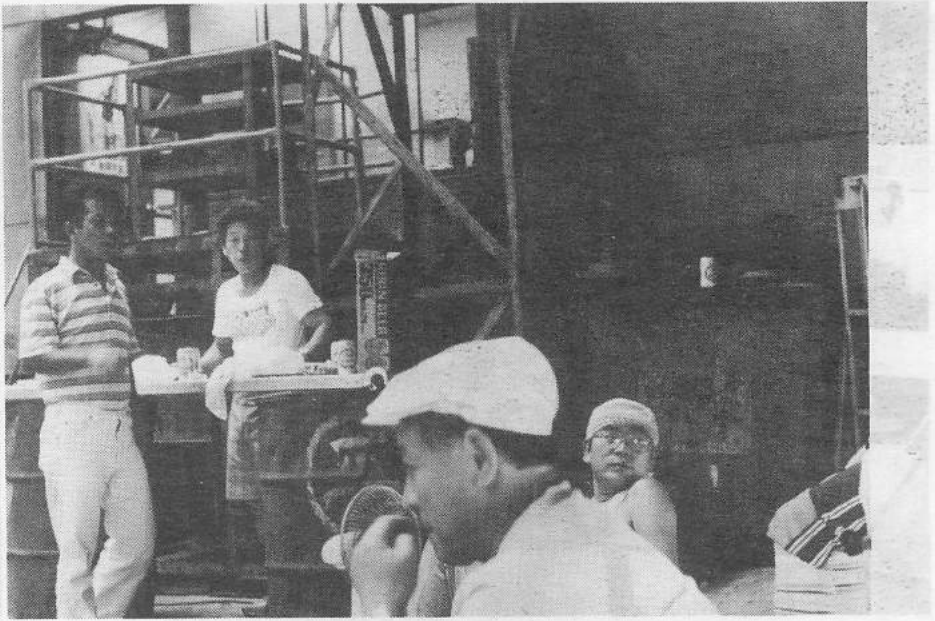
釣り大会

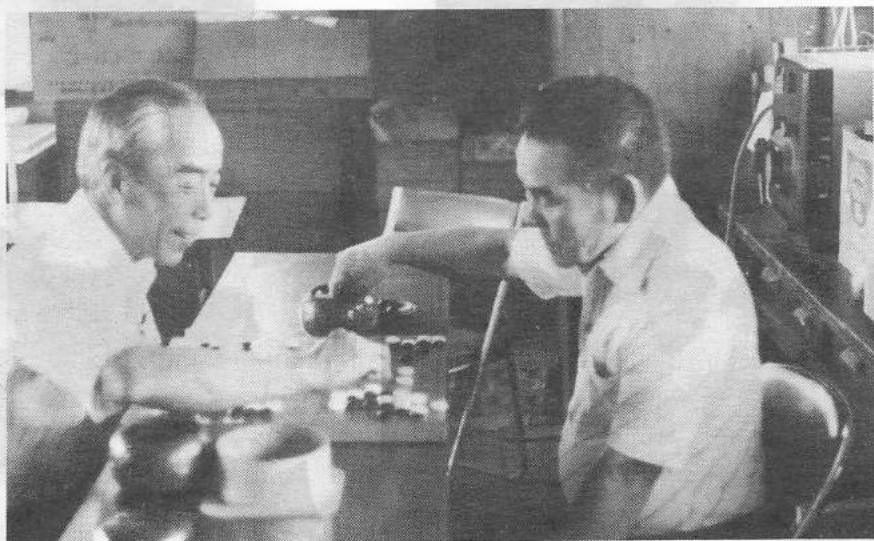
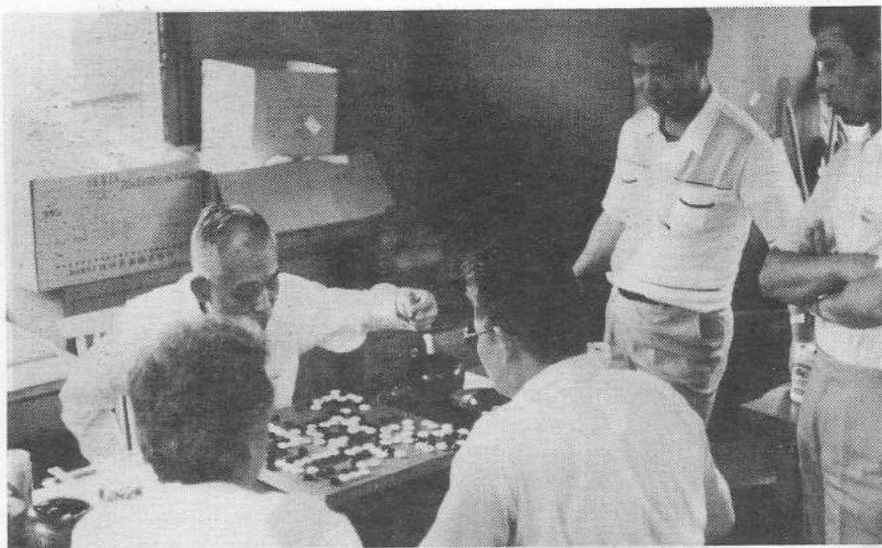


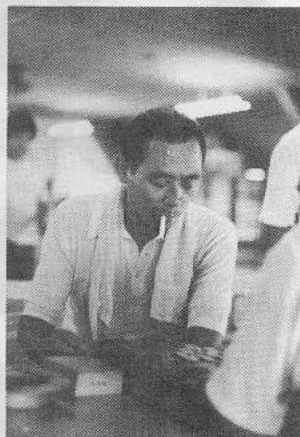
合同文体行事 (卓球・バドミントン・囲碁・将棋)



合同文藝研究会 (卓球・ハイミン・イン・囲碁・将)

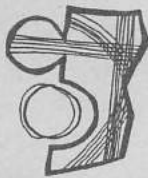






VI

資
料



大阪亜鉛支部役員一覧

6	5	4	3	2	1	0	
村上幸次郎	池田 徹	池田 徹	村上幸次郎	出口静雄	出口静雄	出口静雄	執行委員長
山口満男	中村宝明 (沢辺益男)	平安山定 広	山口満男	福島 一	蛭子 務 福島 一	福島 一	副委員長
中村宝明	河野誠一 (中村宝明)	河野誠一	河野誠一	河野誠一	中村宝明	中村宝明	書記長
江里口賢 山元国清 橋井美信 多田武夫	大石肇 山元国清 中原和正 桜井正道 (石井忠次) 平川大海 沢辺益男 (橋井美信)	沢辺益男 山元国清 芝池日出男 中原和正 中村宝明 石井忠治	中村宝明 久木田欣三 片野田勇 平安山定広 池田徹 小橋敏明	久木田欣三 中村宝明 平安山定広 山口満男 片野田勇 保城幸夫	河野誠一 山口満男 高野文夫 日高正由 桜井健志 竹内平八 池田彦	高野文夫 日高正由 山本啓子 桜井健志 竹内平八 河野誠一	執行委員
別府明治 藤川英敏	久保勝彦 杉本友行	片野田勇 杉本友行					会計監査
大石 肇	高野文夫	高野文夫					職場委員長
七三年 七月二七日	六二年 八月四日	六一年 六月十日	六〇年 六月三日	五九年 八月一五日	五九年 八月五日	五八年 九月二九日	選出時期

15	14	13	12	11	10	9	8	7
橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	村上幸次郎	村上幸次郎
綾野之治	綾野之治	綾野之治	綾野之治	綾野之治	綾野之治	江里口賢	橋井美信	山口満男
篠田公直	中村宝明 (退職)	中村宝明	中村宝明	中村宝明	中村宝明	中村宝明	中村宝明	中村宝明
濱野隆規 村上寿一 柏木一郎	濱野隆規 久保勝彦 山下近 久木田欣三 篠田公直 山下近 久保勝彦 濱野隆規	久木田欣三 篠田公直 山下近 久保勝彦 濱野隆規	濱野隆規 篠田公直 高野文夫 瀬戸口道雄 久保勝彦 杉本友行	久木田欣三 篠田公直 山下近 高野文夫 三原健志 久保勝彦	久木田欣三 大石肇 (栗栖兼夫) 山下近 久保勝彦 高野文夫 三原健志	石井忠次 江里口賢 杉本友行 大石肇 高野文夫 濱野隆規 栗栖兼夫 綾野之治 久保勝彦	石井忠次 江里口賢 杉本友行 大石肇 山下近 (多田武夫) 折戸慶治	石井忠次 江里口賢 杉本友行 大石肇 山下近 (多田武夫)
中島元春 福島一	北島実 阿波田輝夫	山元国清 中島元春	北島実 深田靖雄	中島元春 阿波田輝夫	山元国清 深田靖雄	杉本友行 阿波田輝夫	別府明治 藤川英敏	別府明治 藤川英敏
中尾重光	別府明治	中村幹生	村上寿一	杉本友行	福島一	三原健志	山口満男	橋井美信
七二年 九月二日	七一年 九月二日	七〇年 九月一二日	六九年 九月六日	六八年 九月一四日	六七年 九月二三日	六六年 九月一七日	六五年 九月一日	六四年

26	25	24	23	22	21	20	19	17	16
橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信
高野文夫	高野文夫	高野文夫	高野文夫	綾野之治	綾野之治	綾野之治	杉本友行 (辞任)	杉本友行	杉本友行
百瀬 彰	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一	村上寿一
濱野隆規 山岡金衛	濱野隆規 山岡金衛	濱野隆規 山岡金衛 岩本優 (退職)	濱野隆規 山岡金衛 岩本優	濱野隆規 岩本優 中尾重光 高野文夫 吉田耕治 三原健志 (辞任)	岩本優 山岡金衛 中尾重光 三原健志 高野文夫 吉田耕治	岩本優 山岡金衛 中尾重光 三原健志 高野文夫 吉田耕治	岩本優 中尾重光 高野文夫 柏木一郎 (退職) 濱野隆規 綾野之治	濱野隆規 中尾重光 山下近 高野文夫 綾野之治 柏木一郎	濱野隆規 中尾重光 山下近 高野文夫 綾野之治 柏木一郎
中島元春 久木田欣三	中島元春 久木田欣三	藤川英敏 久木田欣三	阿波田輝夫 久木田欣三	阿波田輝夫 久木田欣三	中島元春 阿波田輝夫	中島元春 阿波田輝夫	中島元春 阿波田輝夫	中島元春 阿波田輝夫	中島元春 阿波田輝夫
太田洋三	百瀬 彰	百瀬 彰	竹之下貞男	山下近	杉本友行	山口満男	田畑 繁	別府明治	別府明治
八三年 一〇月一日	八二年 九月四日	八一年 九月五日	八〇年 九月六日	七九年 一〇月六日	七八年 九月二日	七七年 九月一〇日	七四年 八月三一日	七三年 九月一日	七三年 九月一日

30	29	28	27
橋井美信	橋井美信	橋井美信	橋井美信
高野文夫	高野文夫	高野文夫	高野文夫
百瀬 彰	百瀬 彰	百瀬 彰	百瀬 彰
濱野隆規 山岡金衛 太田洋三	濱野隆規 山岡金衛 太田洋三	濱野隆規 山岡金衛 太田洋三	濱野隆規 山岡金衛
久木田欣三 山田泰三郎	北島 実 久木田欣三	北島 実 久木田欣三	中島元春 久木田欣三
広田 甫	平松敏彦	平松敏彦	太田洋三
一〇月三日	八六年 一〇月四日	八五年 一〇月五日	八四年 一〇月六日

編集後記

● 広田 甫 (仕上 班)

一口に三〇周年といっても、わが支部にとって波乱万丈の三〇年であったと思う。最初の一〇年は六三春闘が一つの山場で、六〇日間の無期限ストをし惨敗し、全組合員は死んだようになっていた。

ちようどその頃、私は入社した。それから中間の一〇年は組合意識にも目覚め、内外共に充実した一〇年であったと思う。

そして最後の一〇年は、市川資本による会社更生法という官製合理化攻撃の中で全組合員が再建のため必至になって働き、今日に至っている。

このような様々な経験を生かし、これから組合員の団結で四〇周年、いや五〇周年に向かってガンバリ。

● 平松 敏彦 (メッキ 班)

三〇年史の編集にあたって、すったもんだのあげく、まあなんとか原稿を書き上げ、自分の分担分をクリアーして正直いってホー。

ところがどっこい、「記念誌」の事を忘れかけていたところに、今度は「編集後記を書け！」と言われて、「よおーしすぐ書いたらあ」といって書きだしたのが、この文章。

ともかくにも、この編集後記を書き上げると、あのいまましい(?)「記念誌」から離れられると思うと、ワクワク、ルンルン。

三〇年間、毎年、議案書が書かれているけど、僕達の先輩や同僚が一つ一つ勝ちとってきた権利や条件が、今の僕達を陰に陽に支えているということを理解する為の貴重な資料であるが、たぶんパンフや議案書の歴代の議案書き担当者は僕同様、書き終わればホッ！

というところで僕もホッ！

● 大西 巧 (工務・検査・職員班)

組合三〇周年の記念誌編集委員の重任を与えられたが、僕の未熟さゆえに編集委員諸兄には様々な負担をかけてしまった。この場を借りてお詫びします。

さて、この「記念誌」に記載されているわが支部の労働運動の歴史は、過去のものではなく、際会する労働運動の危機からも「温故知新」となると思います。

特に、各年度の運動方針の裏にある、先輩達の対経営者対権力の闘いが浮かび上がったと思います。更なる団結の強化に向けてガンバロウ。

● 百瀬 彰

血と汗、そして涙で築かれた我が職場―記念誌作りに参加して改めて実感する。涙というのが大阪亜鉛たるところである。初代委員長解雇の時の涙、六三春闘に敗北した

涙、なじみの仲間が職場を去った時の涙、……多くの涙がある。これまでの涙を無にしてはならないとつくづくと思う。

働く者の熱意と能力を傾け、運動の領域を拡大し、働く者が主人公となる職場の一日も早い再建を目指していきたいものだ。その時には、喜びの涙を思う存分に……。

● 山岡 金衛

二〇周年記念集會を行う予定が、一九七五年会社更生法の攻撃を受けて延期せざるをえなくなり、今日に至った。

昨年一月に第一回目の三〇周年記念行事実行委員会が開催され、記念誌担当が決まって以降、作業が始まった。幸いにして、一〇周年記念誌「あゆみ」が発行されていたため、最初の一〇年は意外と集約が早かったが、後の二〇年が数年間の資料の空白を埋めるための努力に時間がかかった。

まず、編集方針、日程、作業手順などを確認して行ってきたが、何分昭和三三年組合が結成されてから三〇年間の資料は余りに少なく、日数的、予算的にも、まして編集委員は素人の五人であり、作業は思うようにははかどらず、一時はバ

ンフ発行が記念集會までに間に合うか、危ぶまれたがようやく完成にこぎつけた次第です。

最後に御寄稿下さった各位並びに御協力下さった皆さんに厚く御礼申し上げます。

三〇周年記念行事実行委員會

実行委員長 高野文夫

事務局 百瀬 彰

會計 濱野隆規

実行委員

【記念集會】 高野文夫、濱野隆規、太田洋三、久保勝彦

中村幹生、田畑繁、久木田欣三

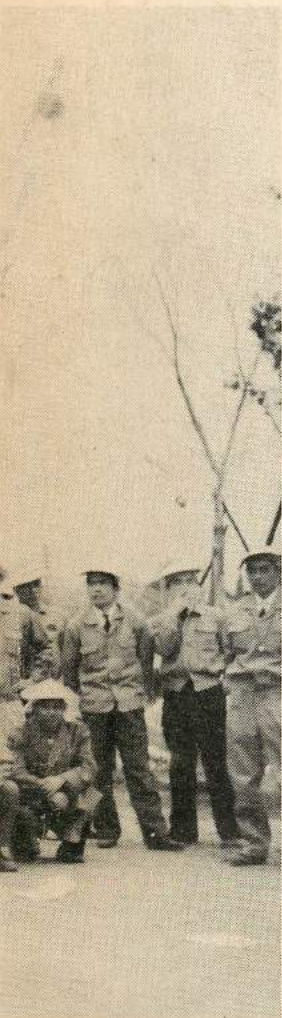
【文体行事】 濱野隆規、太田洋三、平松周平、淵上和政

森 一正

(綾野之治、小川純生、吉田耕治)

【記念誌】 山岡金衛、百瀬彰、平松敏彦、広田甫

大西巧



たなびく赤旗のもとで

——組合結成30周年記念誌——

発行 総評全金港合同大阪亜鉛支部
大阪市港区福崎2-6-24
電話 06(571)5235

発行日 1987年11月7日

表紙の写真・陣笠スタイルのメーデー(1963年5月1日)